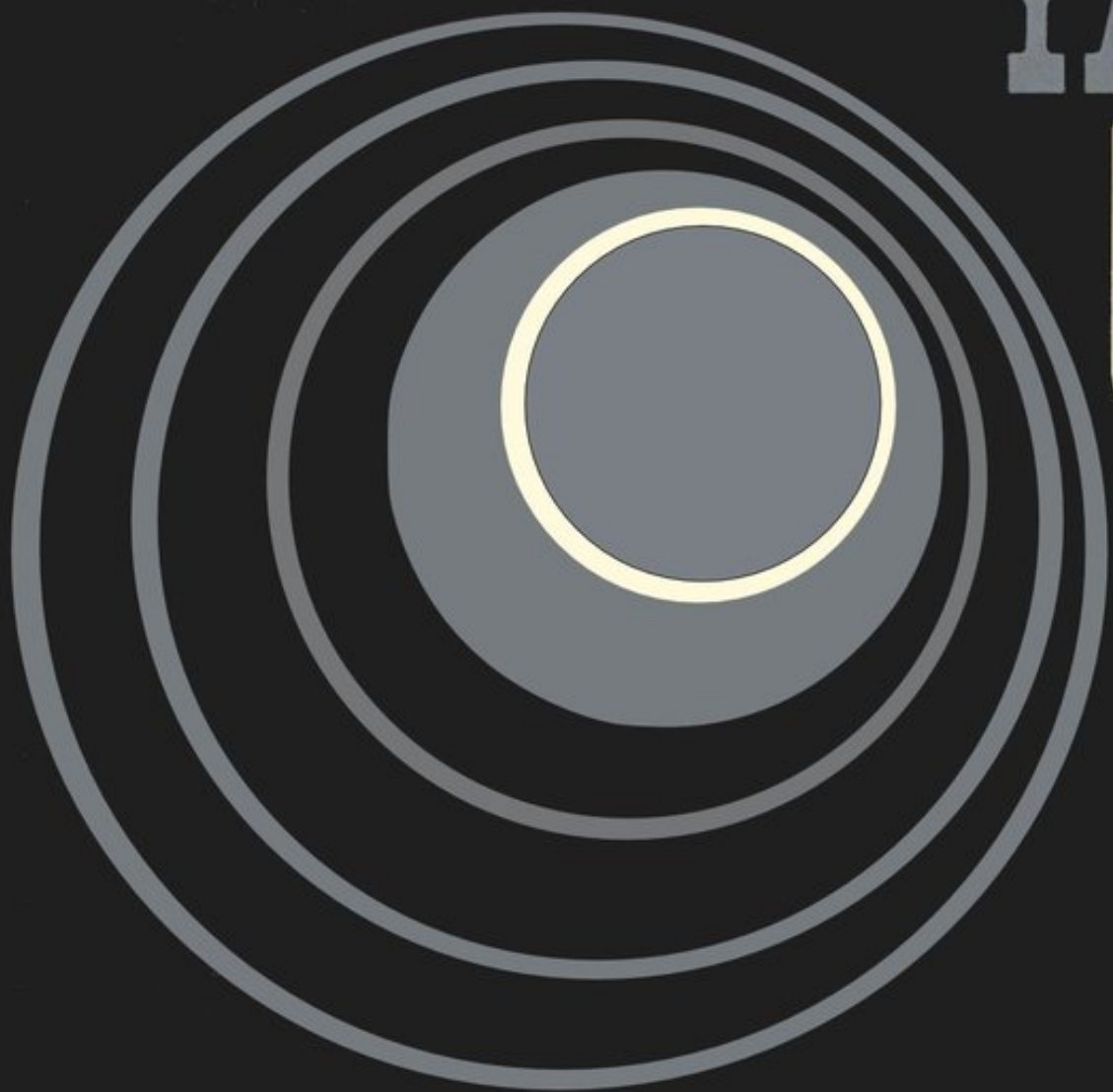


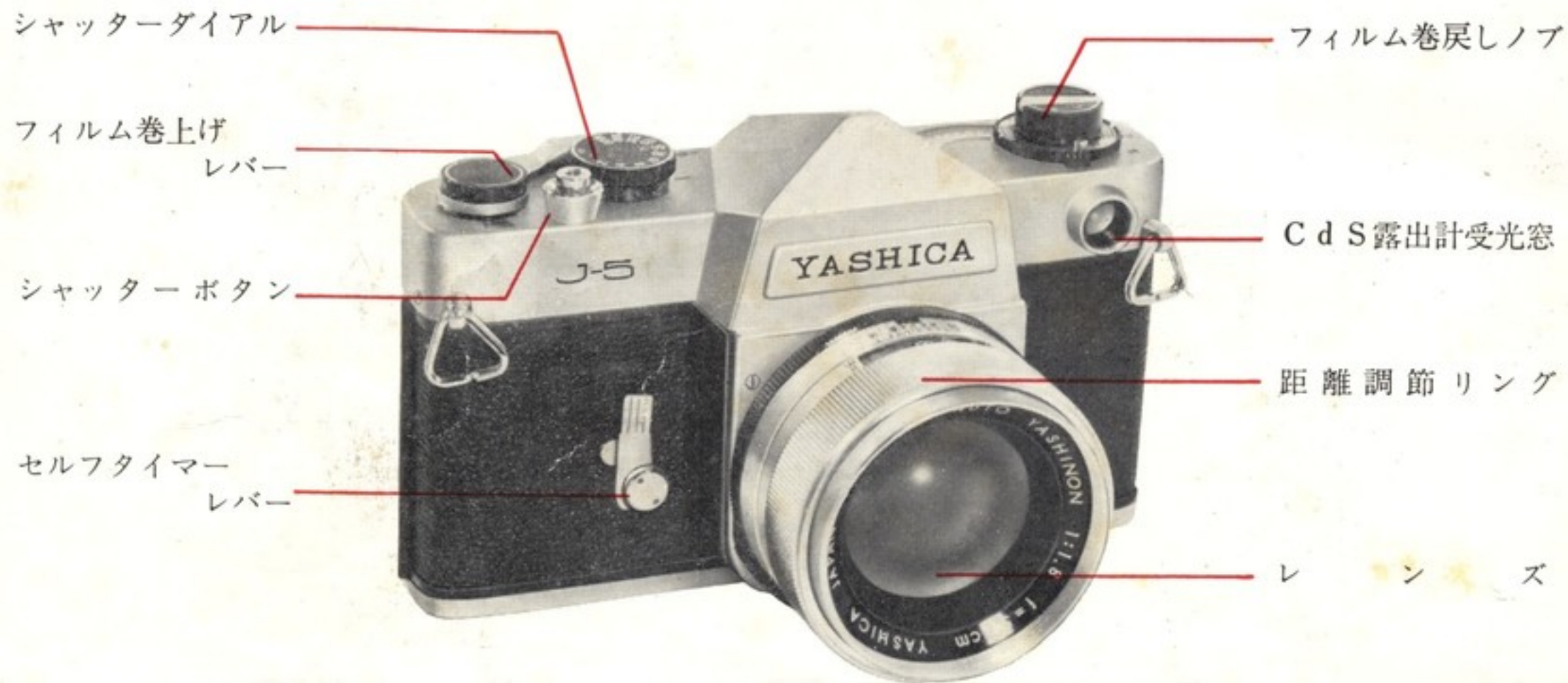
YASHICA

J-5

ヤシカ J-5 の使い方



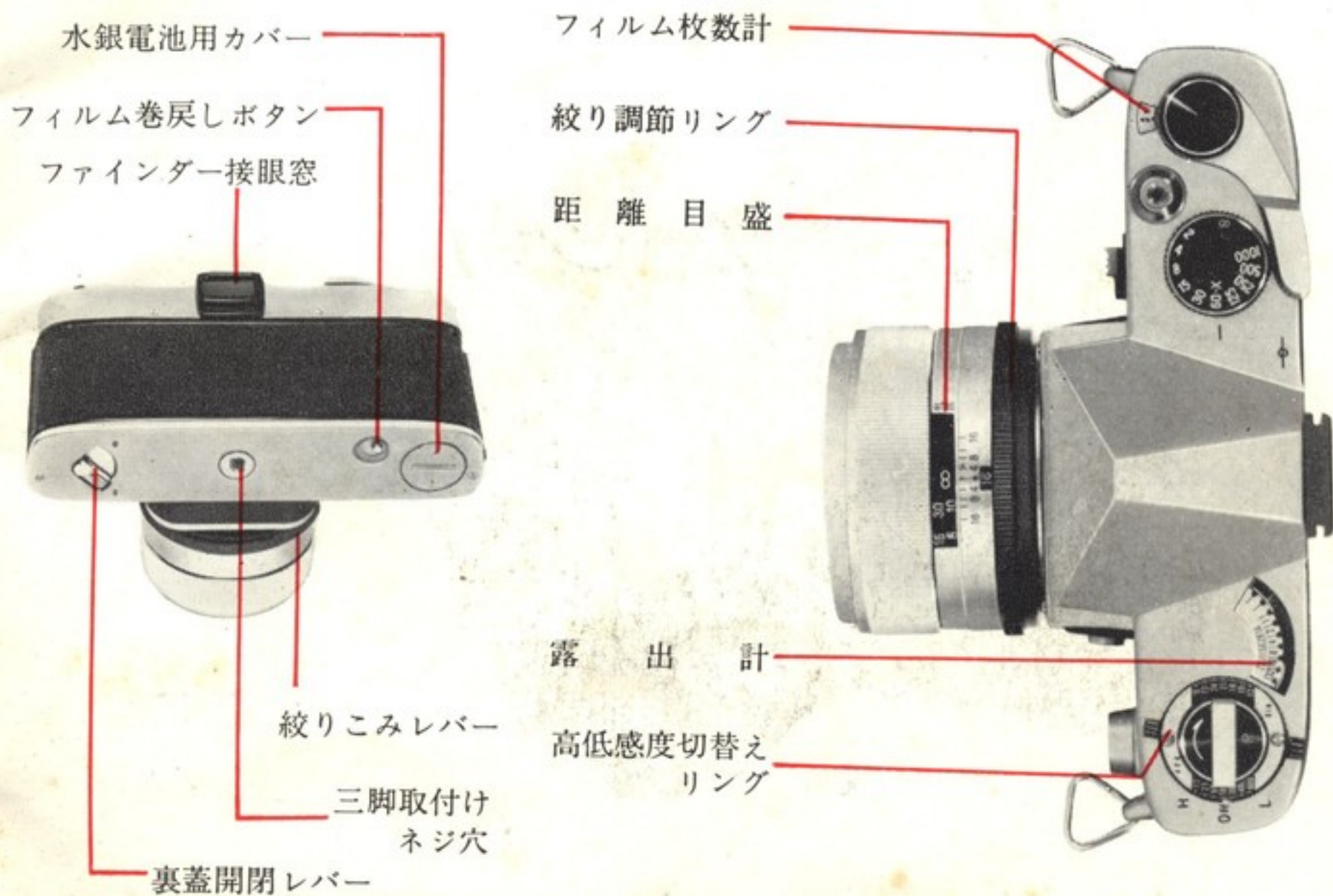
カラー写真用に新しく設計されたオートヤシノンレンズ



*最初に水銀電池を入れてください

*撮影のしかた早わかり

*各部分の名前を覚えましょう



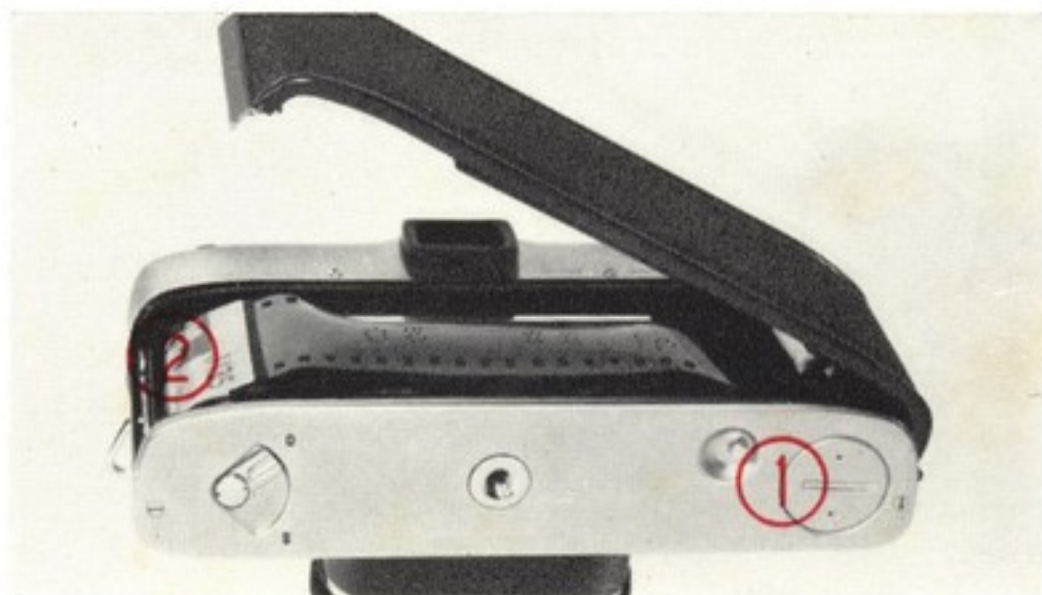
☞ 撮影の手順は下の通りですが、くわしくは各項目の説明をご覧ください

シャッター

フィルム巻

シャッター

セルフタイ

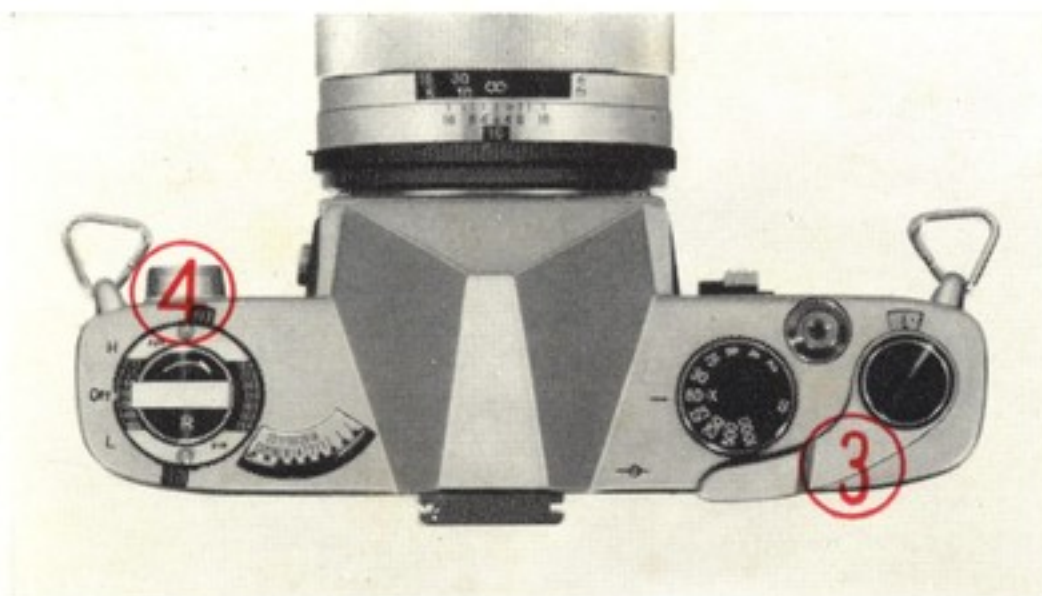


1 水銀電池を入れます

電池を入れないと露出計が動きません。

2 フィルムを入れます

市販の35ミリフィルムを使用します。



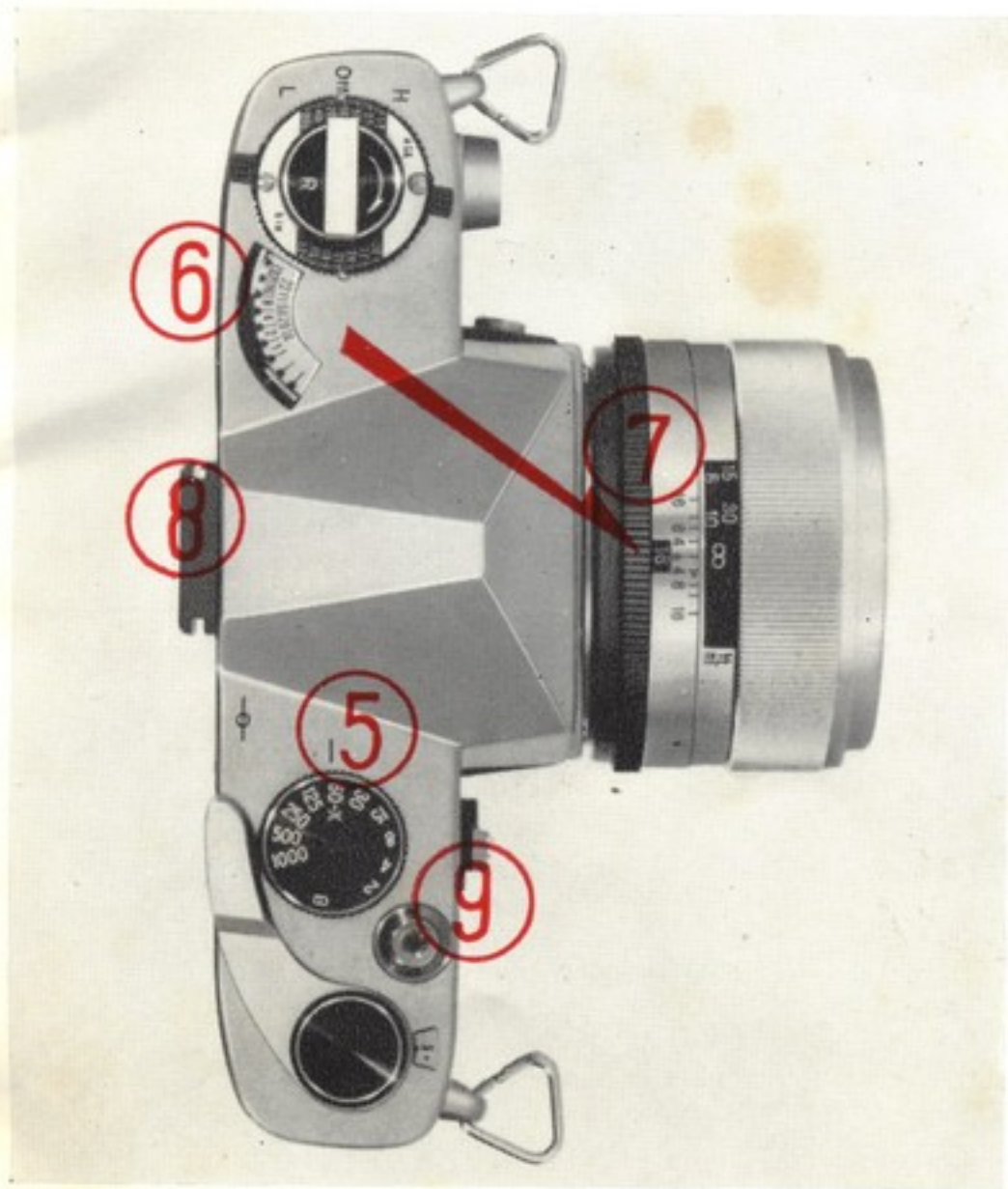
3 巻上げレバーを巻く

レバーを巻きシャッターセットします。

4 ASA感度を合わせる

フィルムのASA感度を合わせます。

ださい。



5 シャッター速度を合わせます

6 露出計を見ます

針が示した絞り数字を読みます。

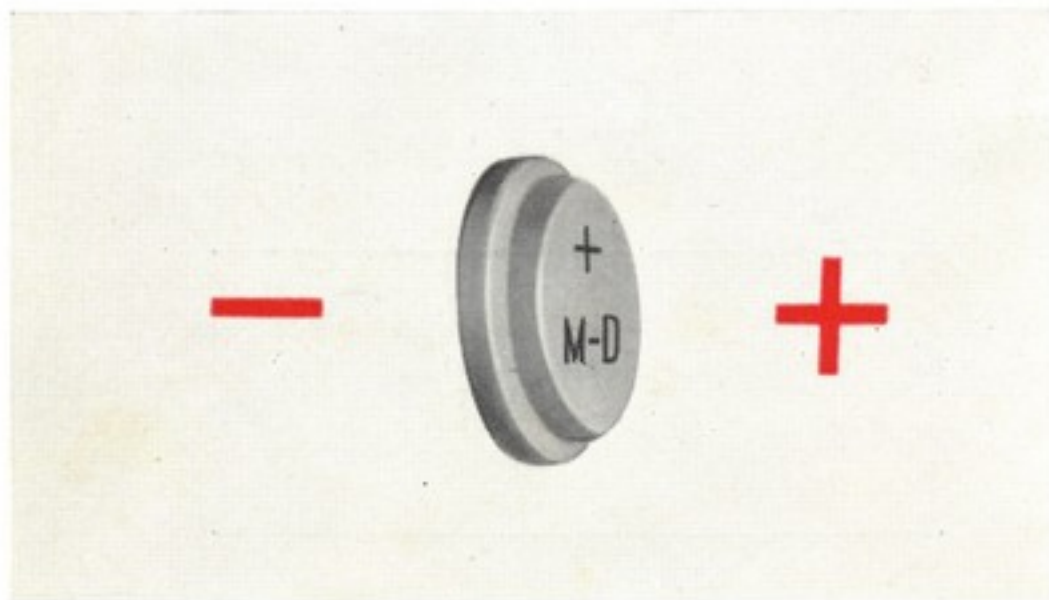
7 絞りリングを回し、絞り数を
合わせます

8 ファインダーを覗き、ピント
を合わせます

9 シャッターボタンを押します

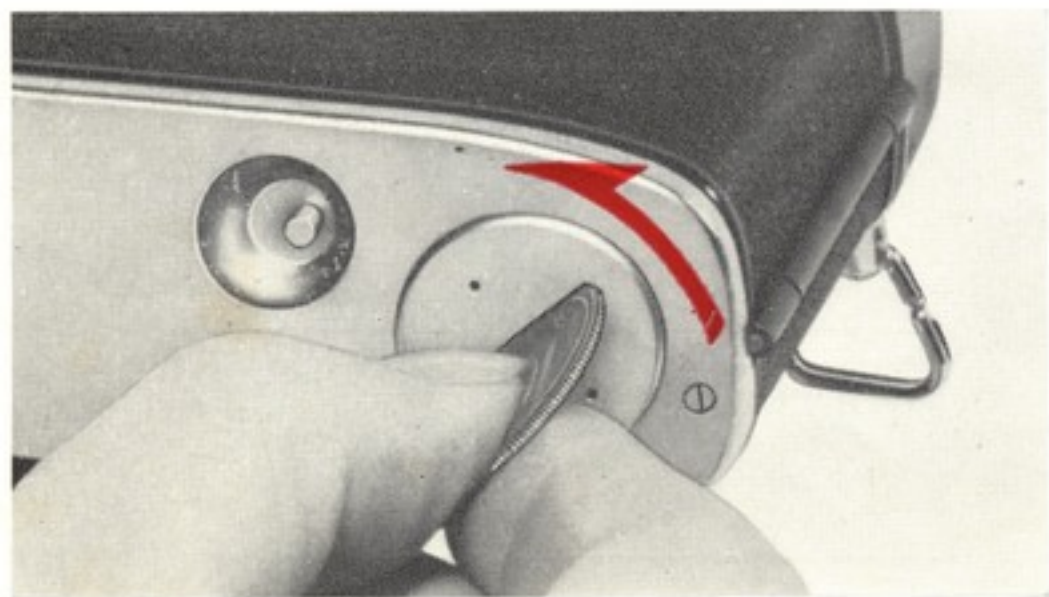
*最初に水銀電池を入れてください
*撮影のしかた早わかり

☞ 水銀電池を入れないと露出計は動きません。



このカメラのCdS露出計には、水銀電池を使用しています。

化粧箱の内に露出計用水銀電池が入っていますから、次の方法で間違わないように入れてください。



〈水銀電池の入れ方〉

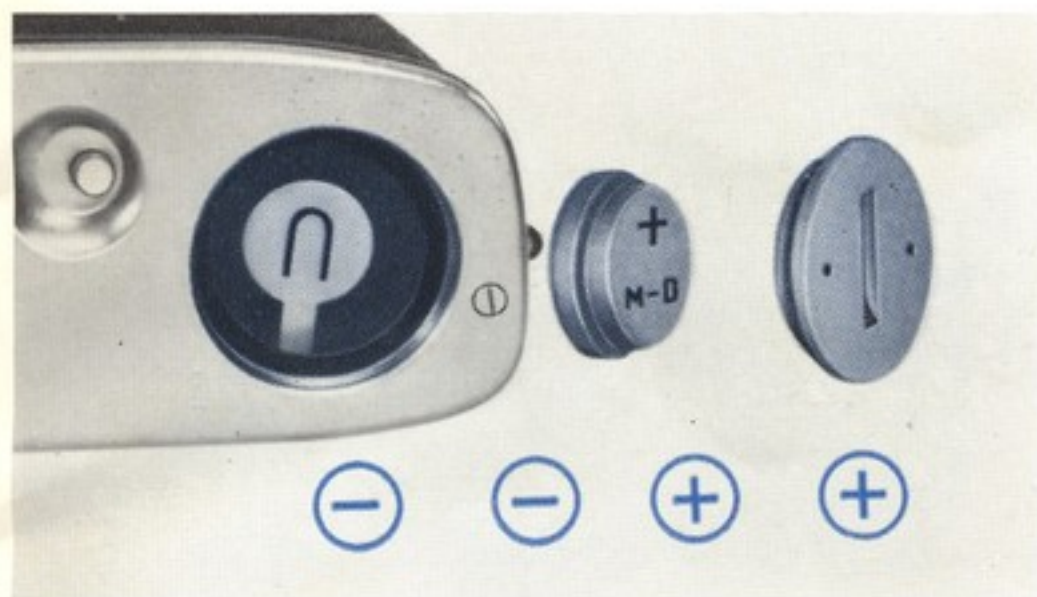
- 1) 十円玉等で、電池ケース蓋を矢印方向に回してはずします。

シャ

ファイ

シャ

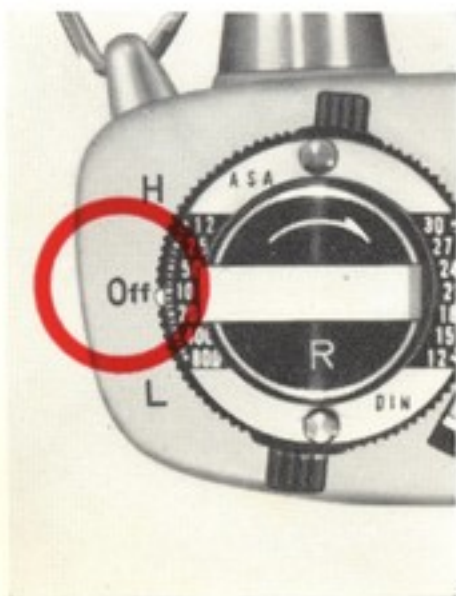
セル



2) 水銀電池（ナショナルM-D型か東芝TH-MC型）1.3Vを入れます。

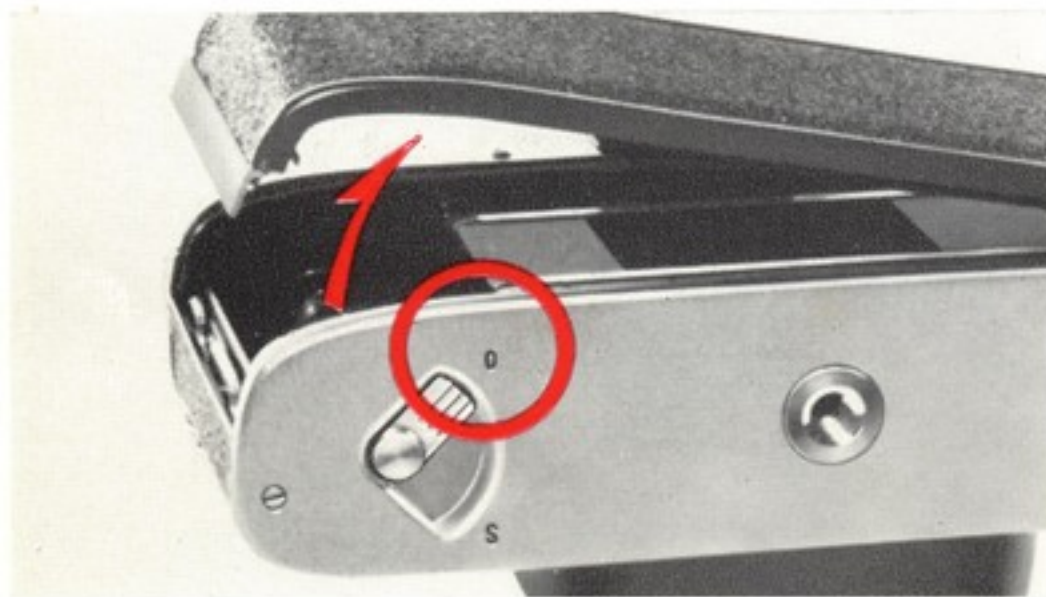
◎このとき、電極の(+)(-)を間違わないように、水銀電池の+側と蓋の内側（+側）を合わせて入れて、蓋が止るまでネジ込みます。

＜水銀電池取り扱い上の注意＞



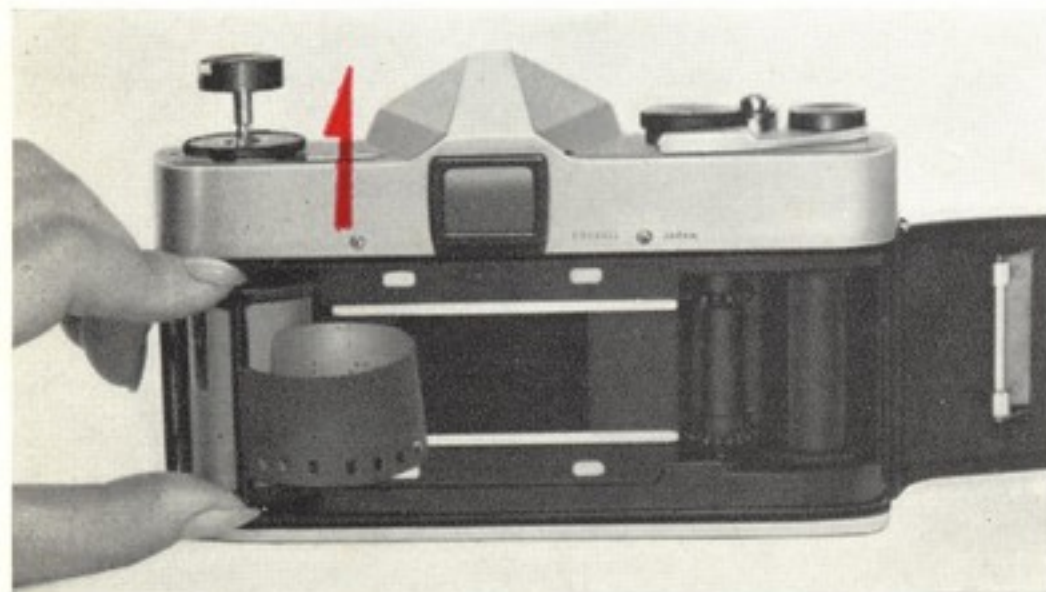
- ◎カメラに水銀電池を入れたまま保存しておくときは、高低感度切り替えリングをOffに合わせます。（Offに合わせておくと電源が切れて電池の消耗がふせげます。
- ◎古くなった水銀電池は、屑箱、ゴミ捨て場等の安全な場所に捨てるようにしてください。
- ◎特に、水銀電池を分解したり、子供の玩具にしたり、火の中に投げ込んだりすることは危険ですから十分に注意して取り扱ってください。
- ◎水銀電池は、普通にお使いいただいで約1年間は持ちます。

☞フィルムを入れるときは、直射日光下をさけて木蔭などの暗いと



裏蓋開閉レバーをO印に合わせて、裏蓋は自動的に開きます。

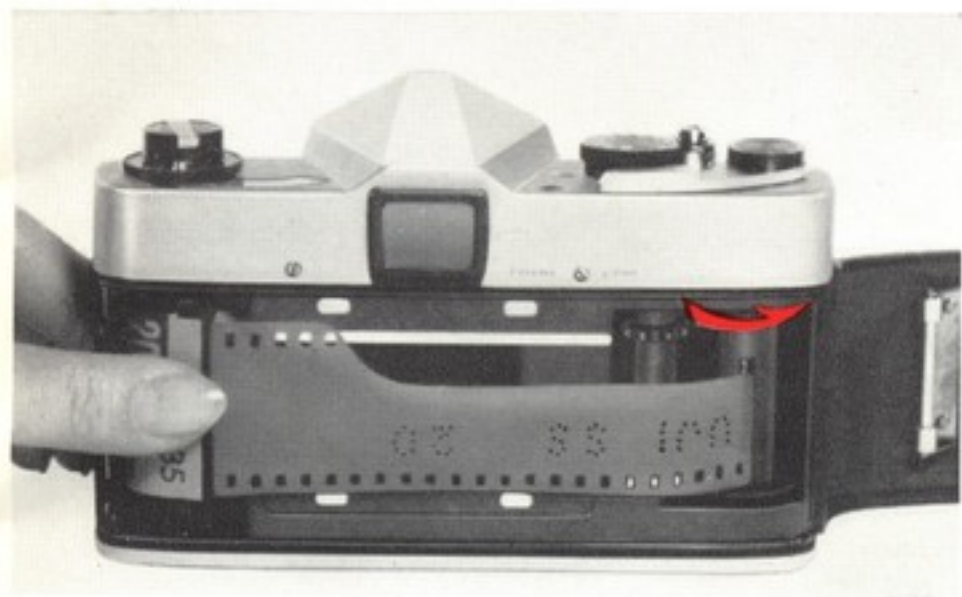
(フィルムを入れる前に11頁を見て、使用
フィルムのASA感度を合わせてください)



裏蓋を開いたら、フィルム巻戻しノブを上
に引きあげます。

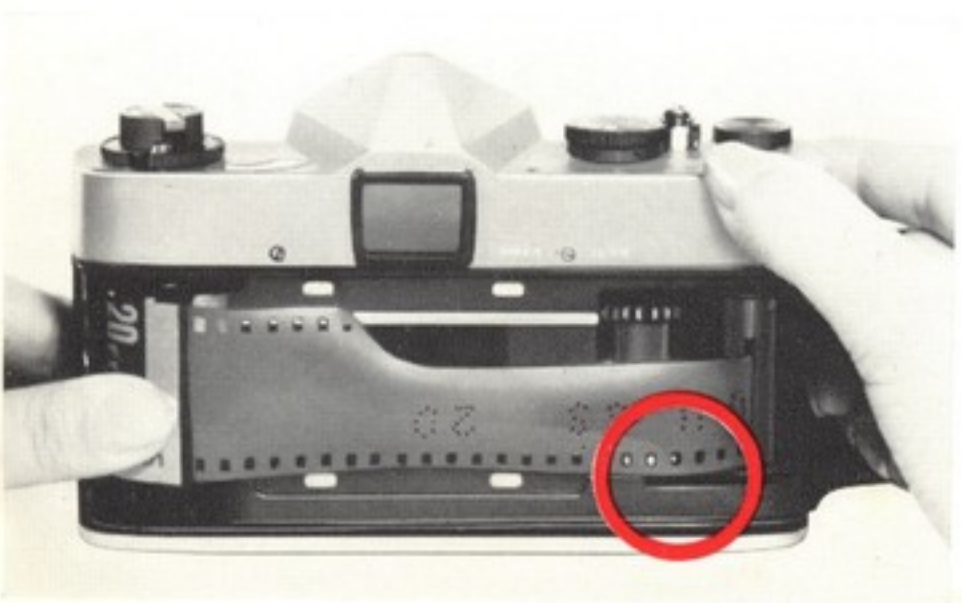
パトローネを入れて、ノブを充通りに下
げます。

こちらに入れてください。



フィルムを引きだし、巻取りスプールにフィルムの先を十分に差し込みます。この差し込みが曲っていたり、不十分だと巻取り不能になることがありますから注意してください。

スプールは写真の矢印のように回ります。



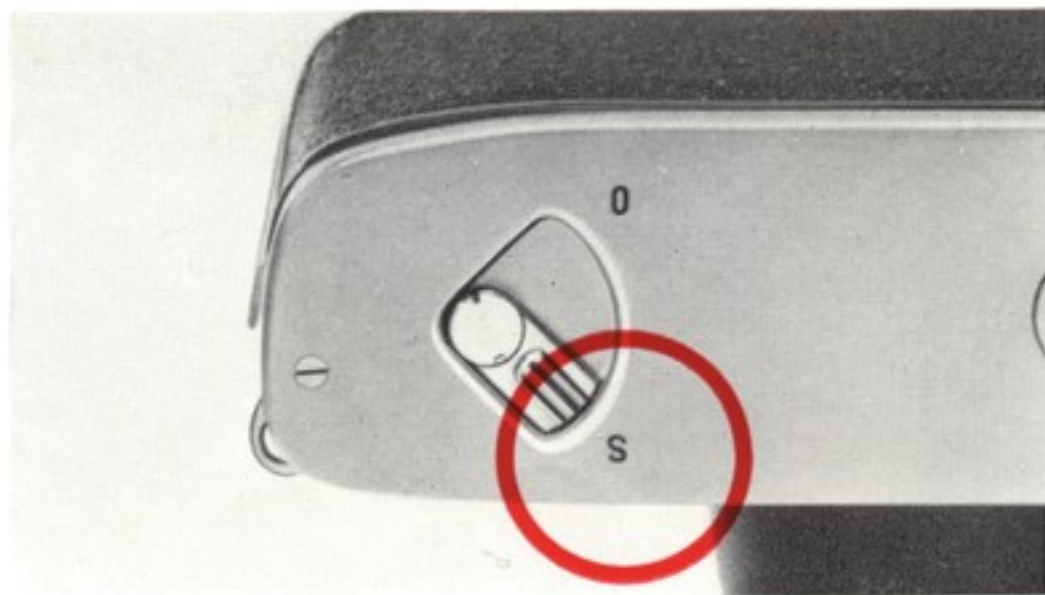
フィルムのパーフレーションをスプロケットの歯に正しくかみ合わせてください。

フィルム巻上げレバーを静かに巻き、フィルムが確実に送られるかを確認してください。

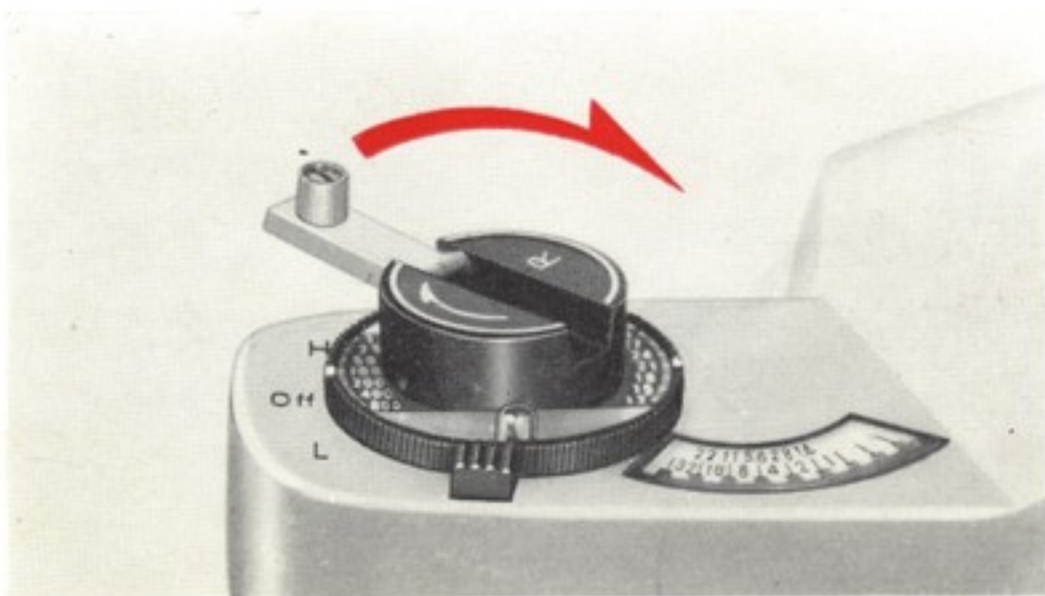
*フィルムはこうして入れます(1)

*フィルムはこうして入れます(2)

*露出の決め方(1) (ASA・シャッター速度)

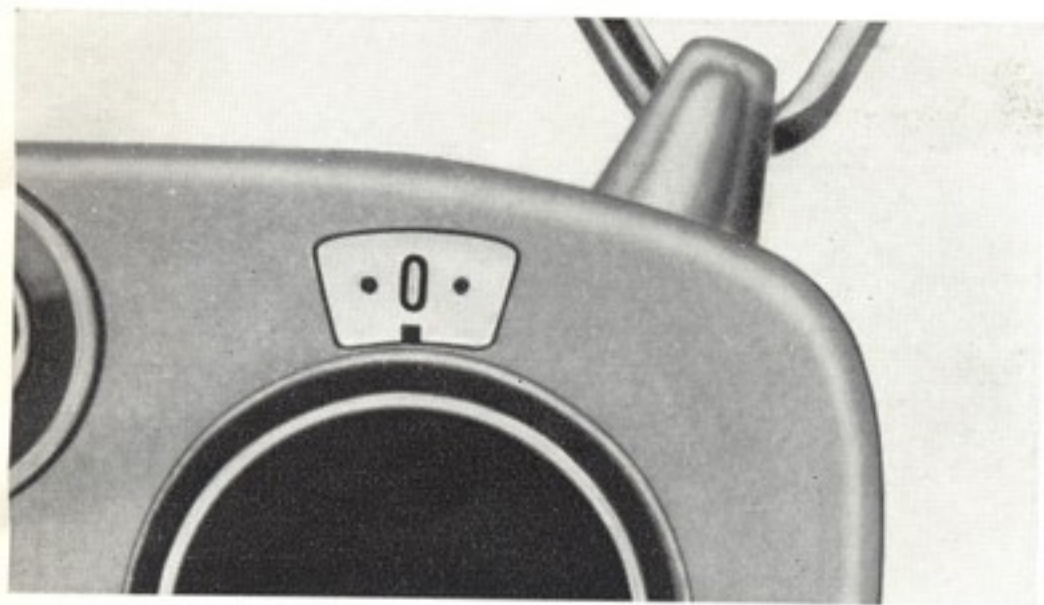


裏蓋開閉レバーを **S** に合わせます。
裏蓋をかるく押せばしまります。

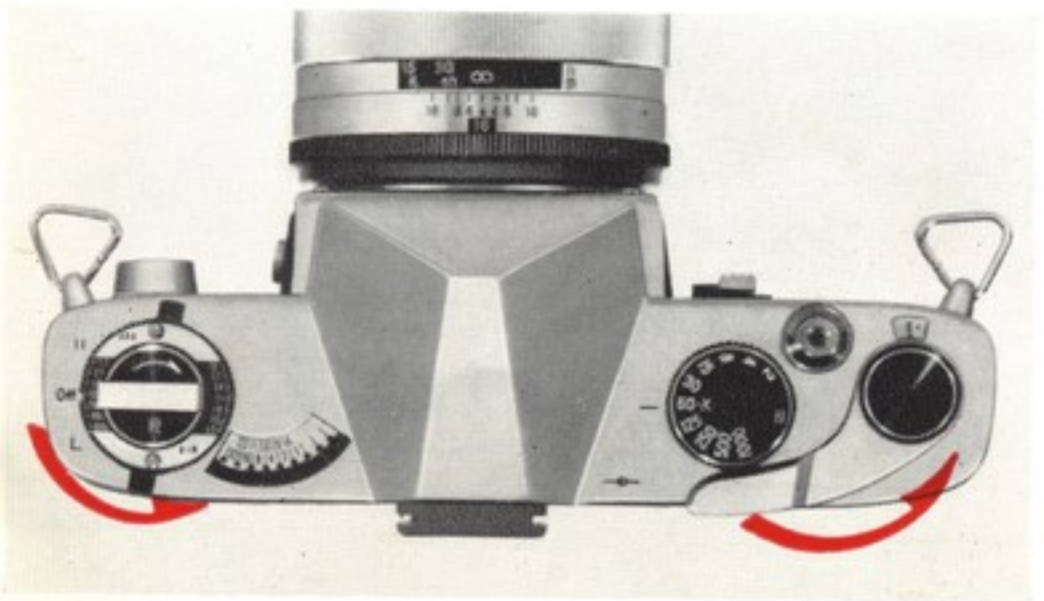


巻戻しノブのクランクを起して、矢印
方向に約ひと回しさせ、フィルムのた
るみをなくしておきます。
クランクを元どおりにしておきます。

☞ 新設計の使いよい自動復元式フィルム枚数計がつけられました。



フィルム枚数計にS（スタート）がでて
いますから、0がでるまでフィルム巻
上げレバーを巻き空写しをします。
フィルム枚数計は、自動復元式ですか
ら裏蓋を開くとSにもどります。

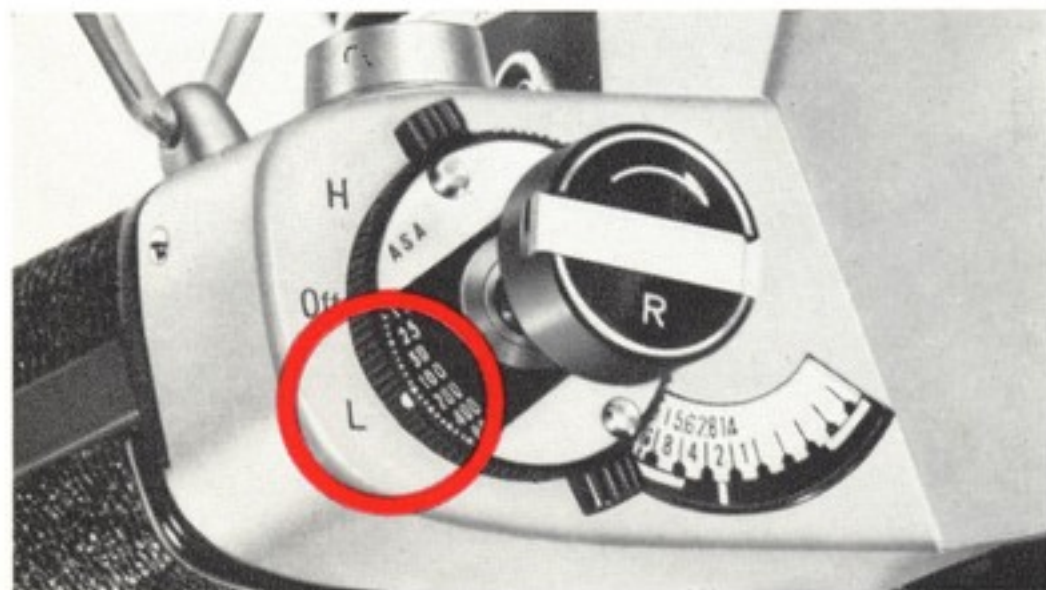


あとは、撮影した枚数が自動的に表示
されます。

巻上げレバーを巻いたとき、巻戻しノ
ブが回れば、フィルムが正しく送られ
ていることになります。

* 露出の決め方(1) (ASA・シャッター速度)
* フィルムはこうして入れます(2)

☞ お茶の間から真夏の海岸まで計れる高感度 CdS 露出計

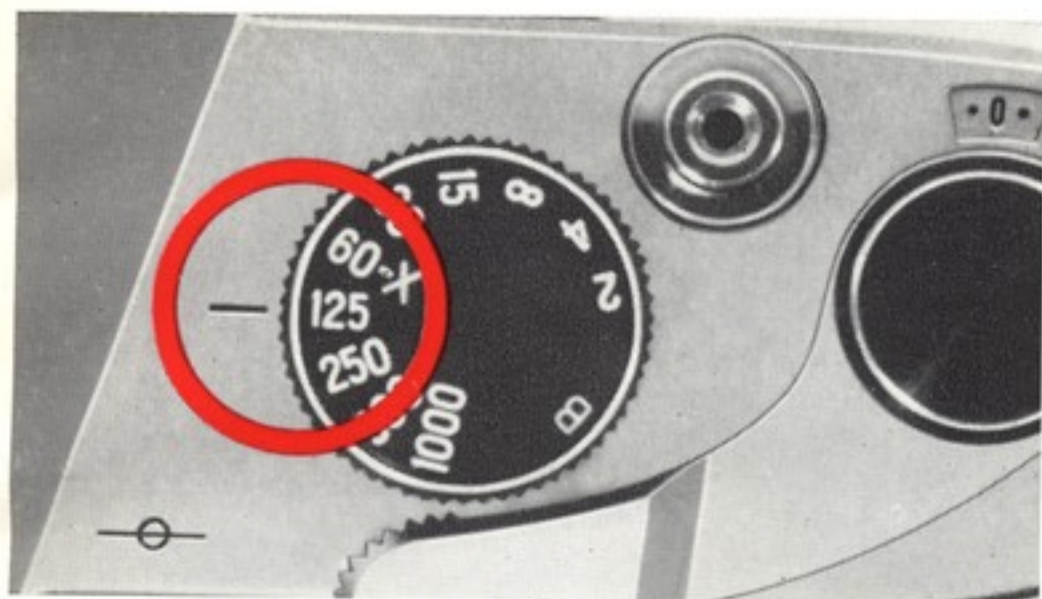


- 1** ASA感度を合わせます
 ASA調節ボッチを指先で回し、使用フィルムの感度数を=印に合わせます
 これを忘れると正しい露出は得られません。

ASA目盛
 について



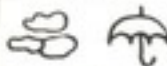


- ◎ ASA感度とは、フィルム感光度のことでフィルムの外箱にASAいくつと印刷されていたり、説明書の露光指数の項に必ず書いてあります。
- ◎ ASA表示盤の数と数の間にある線は、下に書いてあるASA感度数を示します。

A	12		25		50		100		200		400		800						
S																			
A		16	20		32	40		64	80		125	160		250	320		500	640	
D	12		15		18		21		24		27		30						
I																			
N		13	14		16	17		19	20		22	23		25	26		28	29	



2 シャッター速度を合わせる
 シャッター速度ダイヤルを回し、使いたいシャッター速度を—印に合わせます。

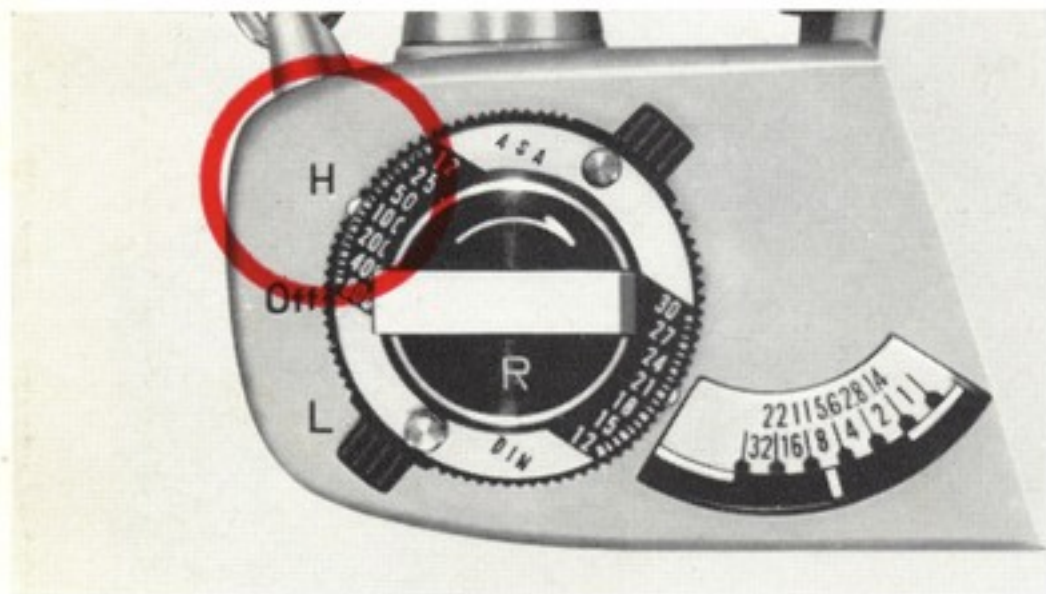
★SS級 (ASA100) フィルムで、普通の被写体を写すときのシャッター速度です。

天 候	普通の被写体
 快 晴	$\frac{1}{1000}$ ・ $\frac{1}{500}$ ・ $\frac{1}{250}$ 秒
 薄 日	$\frac{1}{250}$ ・ $\frac{1}{125}$ 秒
 曇日・雨	$\frac{1}{60}$ ・ $\frac{1}{30}$ 秒
 室 内	$\frac{1}{30}$ 秒以下
 特殊なとき	B(バルブ)

★初めての方は、シャッター速度を左記のような目やすで合わせてください

★飛行機、自動車、スポーツ等、動きの早いものを写すときは、 $\frac{1}{1000}$ 秒を使ってください。

★人物など普通の動体は、 $\frac{1}{500}$ 秒でも写せます。



- 3** 高低感度切替えリングを合わせる
明るい場所では、切替えリングの
=印をHに合わせます。
暗い場所では、Lに合わせます。



- 4** カメラ(露出計受光窓)を被写体に
向けます



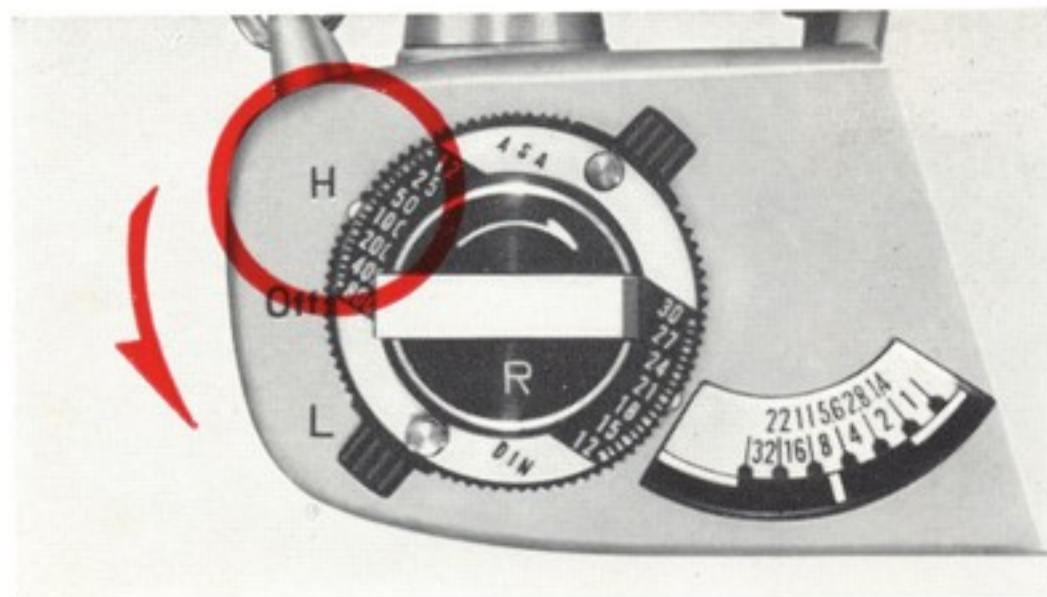
- 5** 針が指した数字を読みます
 露出計の針が指したところの数字が
 適正露出の絞り数です。



- 6** 同じ数字を絞りリングで合わせる
 絞り調節リングを回し、正しい露出
 の絞り数を窓にだします。
 これで露出はOKです。

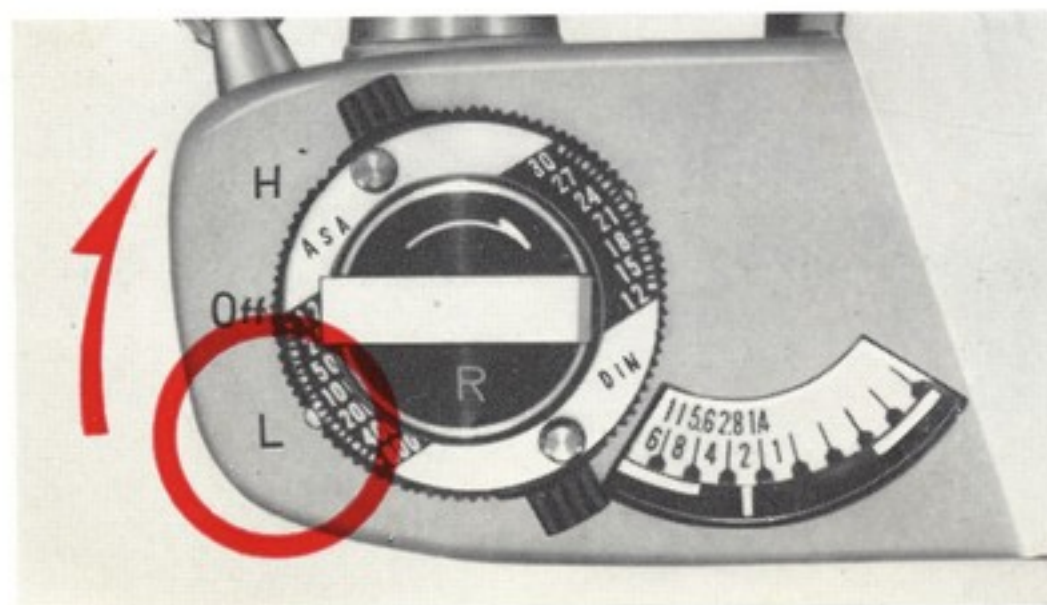
* 露出の決め方(2) (露出計の見かた)

* ファインダー * フィルターや逆光撮影は
 * 高低感度切替えリングの使いかた



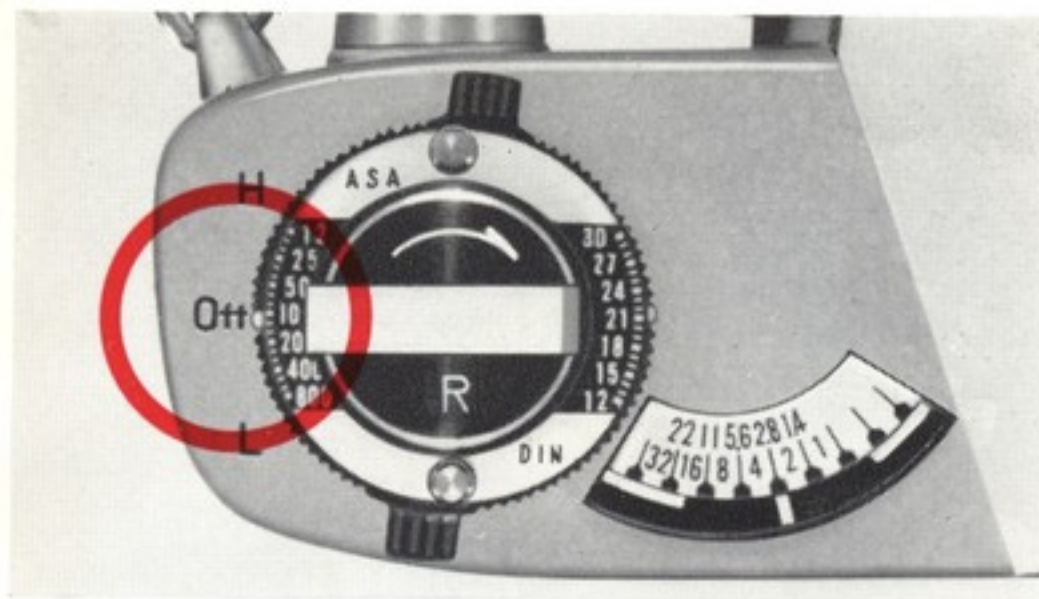
←明るい被写体はHに合わせる

◎切替えリングがHになっていて、針が右側の赤い限界表示盤にかかっているときは、リングをLに合わせれば自動的に感度が切替えられ、針が適正露出を示します。



←暗い被写体のときはLに合わせる

◎切替えリングがLになっていて、針が左側の赤い限界表示盤にかかっているときは、切替えリングをHにしてください。



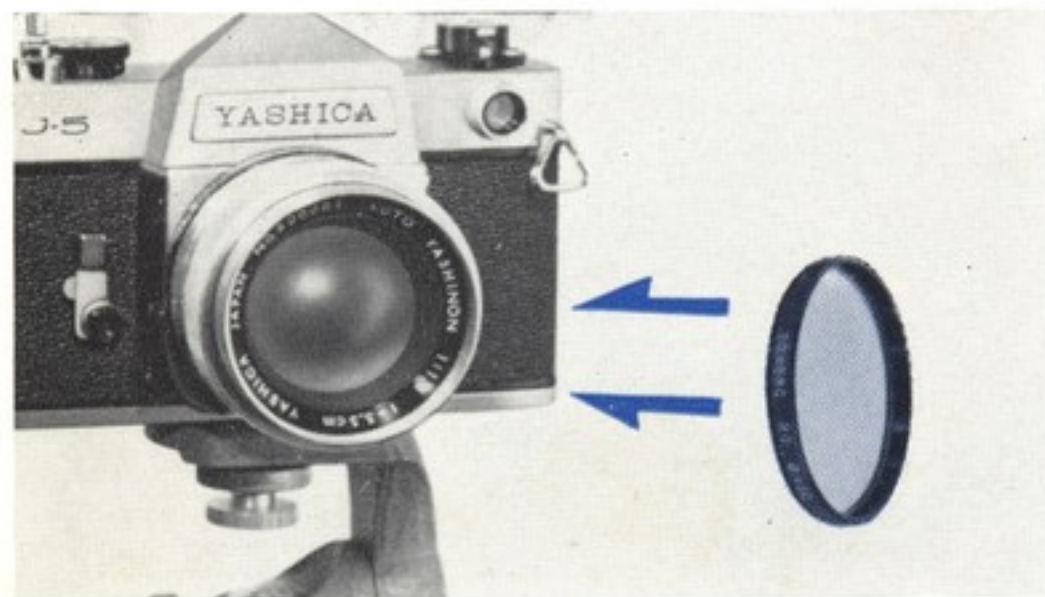
←保存するときはOffに合わせる

◎カメラを使用しないときは、切替えリングをOffに合わせておくと電源が切れて、水銀電池の消耗がふせげます。

《注意》

- ◎針が限界表示盤の近くにあって、絞り数が読みにくいときは、感度をHかLに切替えて読んでください。
- ◎切替えリングをHかLに合わしても、限界表示盤に針がかかるときは、撮影できないような明るさか暗さのときです。





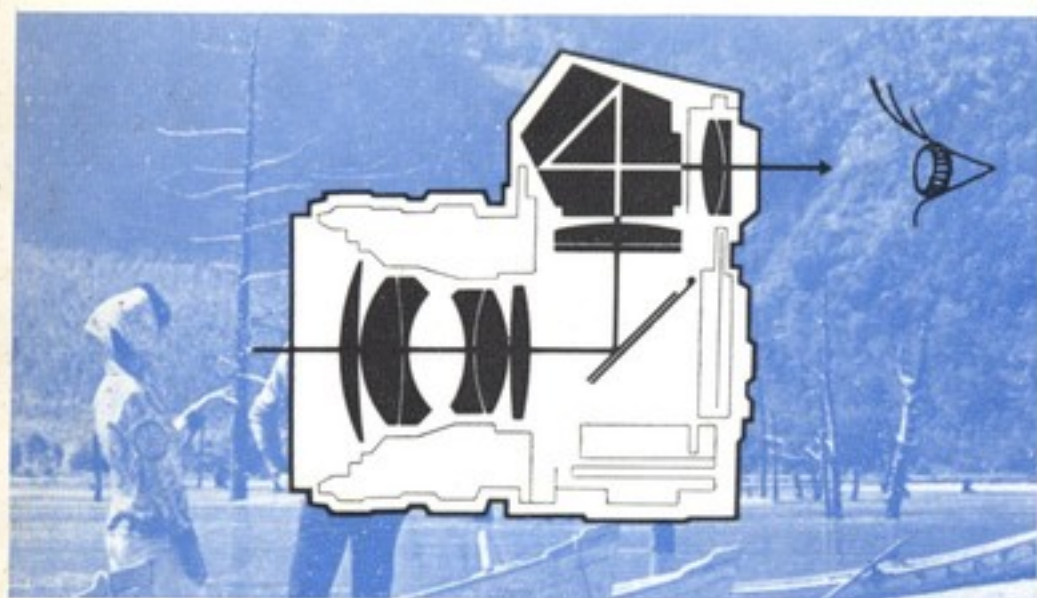
◎次のようなときは、絞りかシャッター速度で露出を調節してください。

- ①フィルターを使うときは、そのフィルターの露出倍数だけ（ Y_2 なら2倍・1目盛）露出調節をしてください。
- ②逆光線撮影で被写体に近づけないときは、約2倍（1目盛～2目盛）だけ露出調節をしてください。

◎なお、逆光線・窓際撮影でも主被写体に近づけるときは、写すべきものの近くで余分の光が入らないようにして露出を決めてください。

〈注〉露出倍数2倍つまり1目盛調整するのは、例えば絞りF8なら5.6に、シャッター速度 $\frac{1}{25}$ 秒なら $\frac{1}{60}$ 秒にすることです。

完全自動絞り機構をそなえた、明るく見やすいファインダー



J-5は、ペンタ方式の一眼レフですから、ファインダーで覗いたときの像がそのまま写ります。

したがって、パララックス（視差）の心配はありません。

◎ファインダーを明るく見やすくし、（絞り開放の状態）シャッターを切る瞬間に決められた絞りまで自動的に絞られる完全自動絞り機構を使用しています。

（下の図解は、完全自動絞りとクイックリターンミラー機構を表わしたものです。）



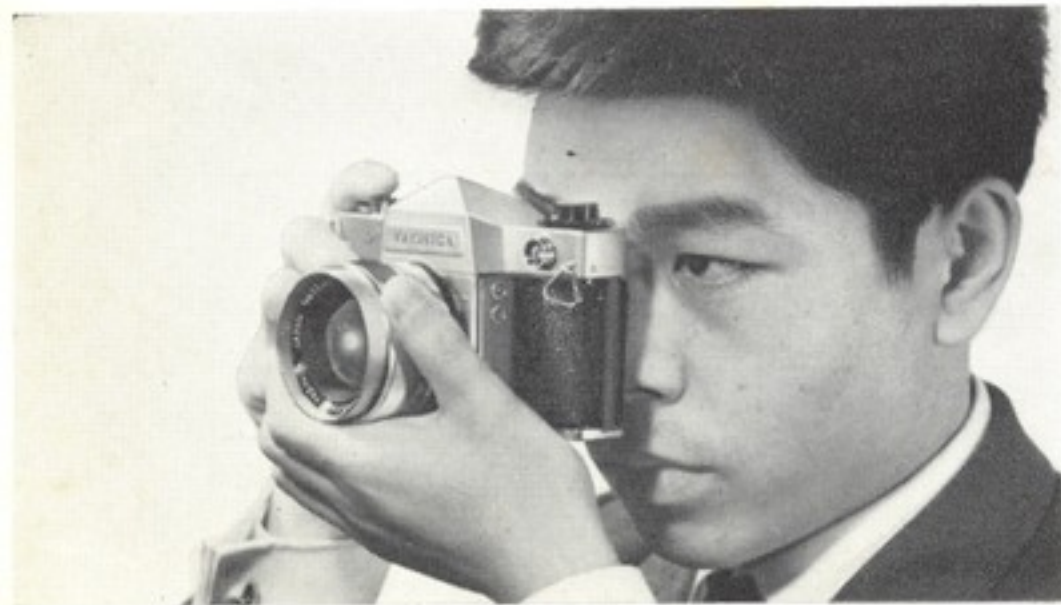
*ファインダー *フィルターや逆光撮影は

迅速に正確なピントが合わせられるマイクロスプリット方式



J-5のファインダーは、完全自動絞り機構のためいつも明るく見やすく（絞り開放の状態）なっています。

しかも、中央にマイクロスプリットが入っていますからピントが迅速に合わせられます。



ファインダーを覗いて、距離調節リングを回し、ピントガラスの像がはっきり見えればピントが合っています。



〈ピントの合ったとき〉

ピントグラス上に写すものの像がはっきり見えればピントが合っています。



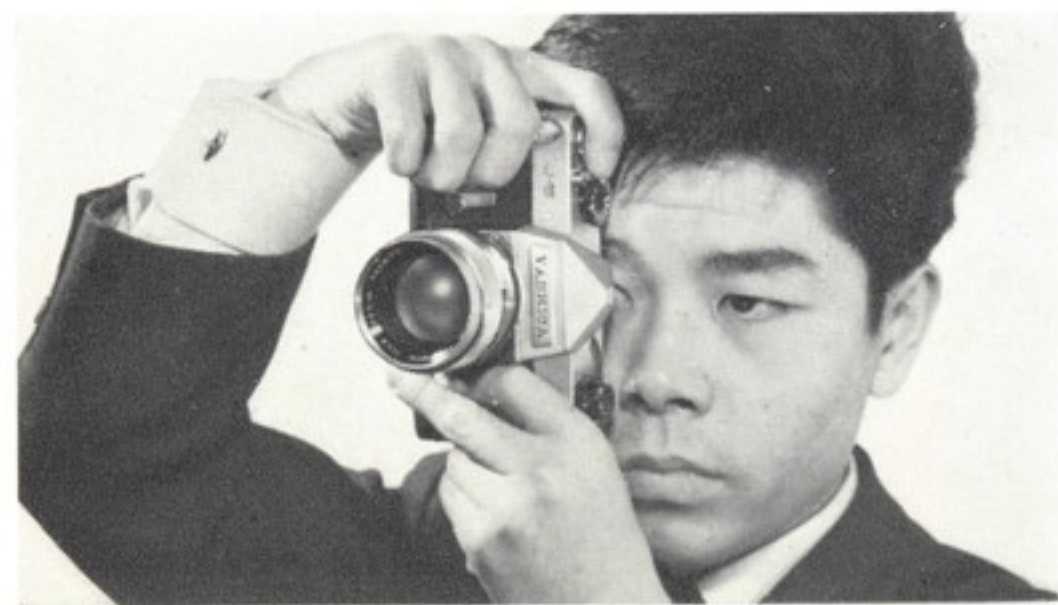
〈ピントの合わないとき〉

ピントが合っていないときは、ピントグラスの像がボケて見えます。特にマイクロスプリットの部分では、像のボケがよくわかります。

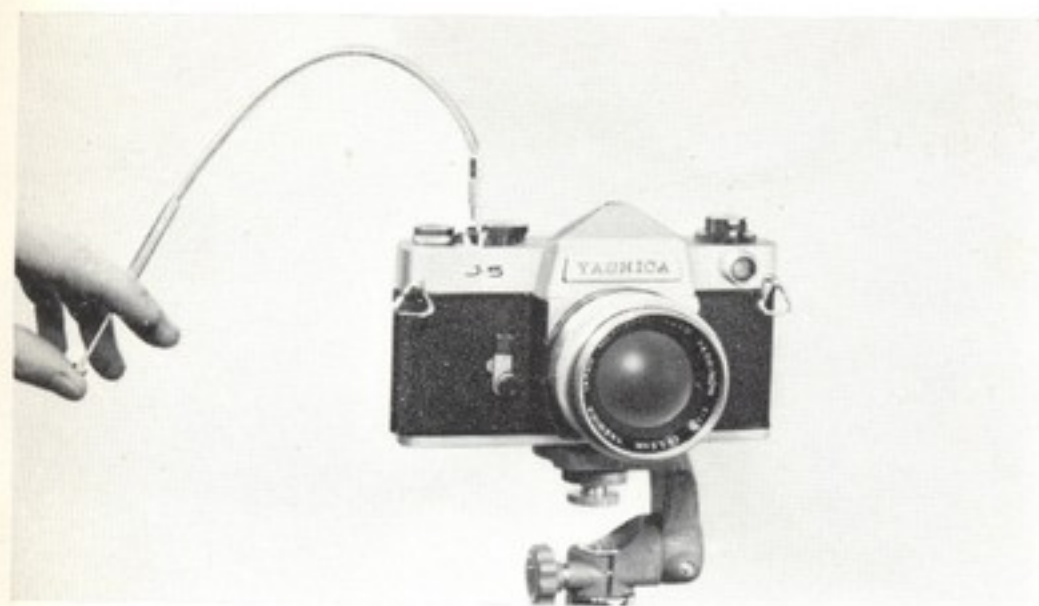
* セルフタイマー * 赤外線指標について
* 構えかたとスローシャッターの使いかた
* ピントはこうして合わせます



楽な姿勢で構え、眼はファインダー接
眼窓の中央に正しく当てがいます。
シャッターボタンを押すときは、静か
に押しましょう。



縦位置のときは、写真のように左手で
カメラを支え、右手でシャッターボタ
ンを押すようにすると楽に構えられま
す。



＜注 意＞

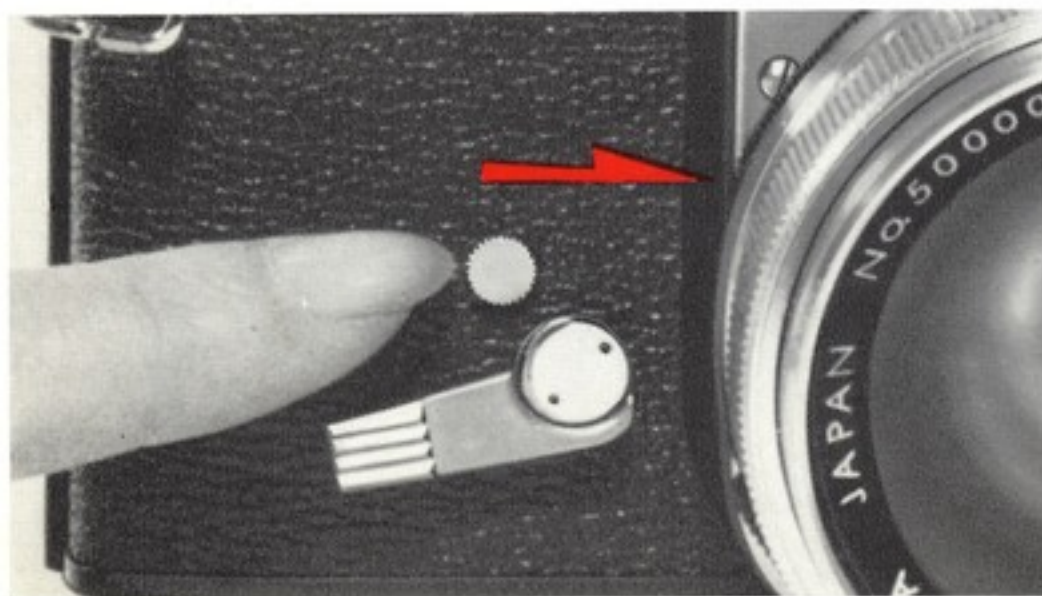
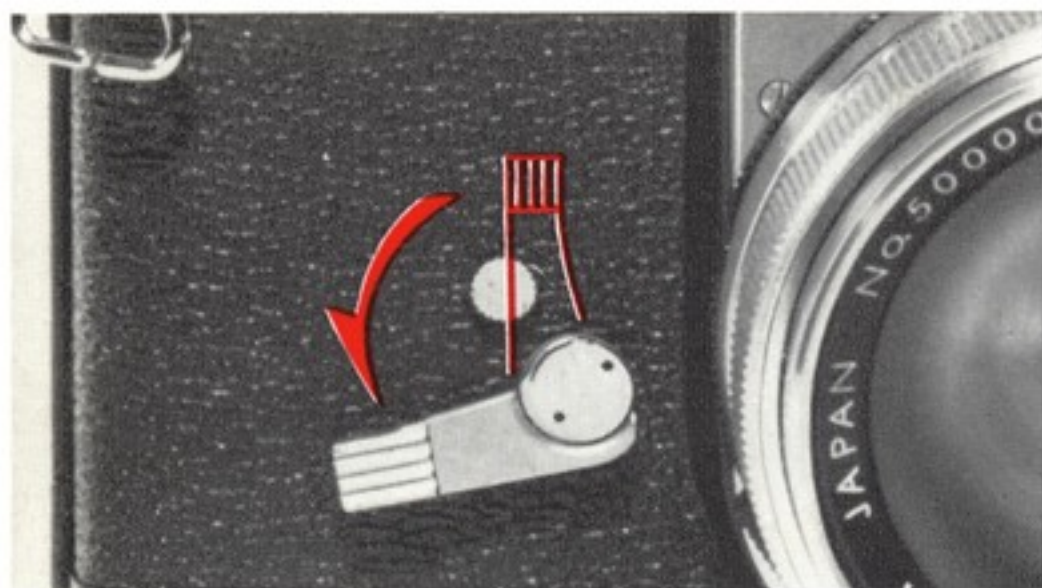
- ◎ $\frac{1}{30}$ 秒より遅いシャッター速度で写すときは、手持ち撮影ではカメラブレを起す恐れがありますから、三脚を使用するか、適当な台を利用して撮影してください。



- ◎ 三脚等を利用するときは、ケーブルリリースをシャッターボタンにネジ込んでお使いください。
- ◎ シャッター速度にあるB（バルブ）とは、シャッターボタンを押している間、シャッターが開いています。これは1秒以上の長時間露出に使用します。

* セルフタイマー
* 構えかたとスローシャッターの使いかた
* 赤外線指標について

2人だけの写真がとれる便利なセルフタイマー



〈セルフタイマーの使い方〉

- 1) フィルム巻上げレバーを巻き上げます
- 2) セルフタイマーレバーを止るまで倒すと、セルフタイマーがチャージされます。
- 3) 次にセルフタイマー始動ボタンを指先でレンズの方に押します。
セルフタイマーが作動し、8～9秒後に自動的にシャッターが切れます。

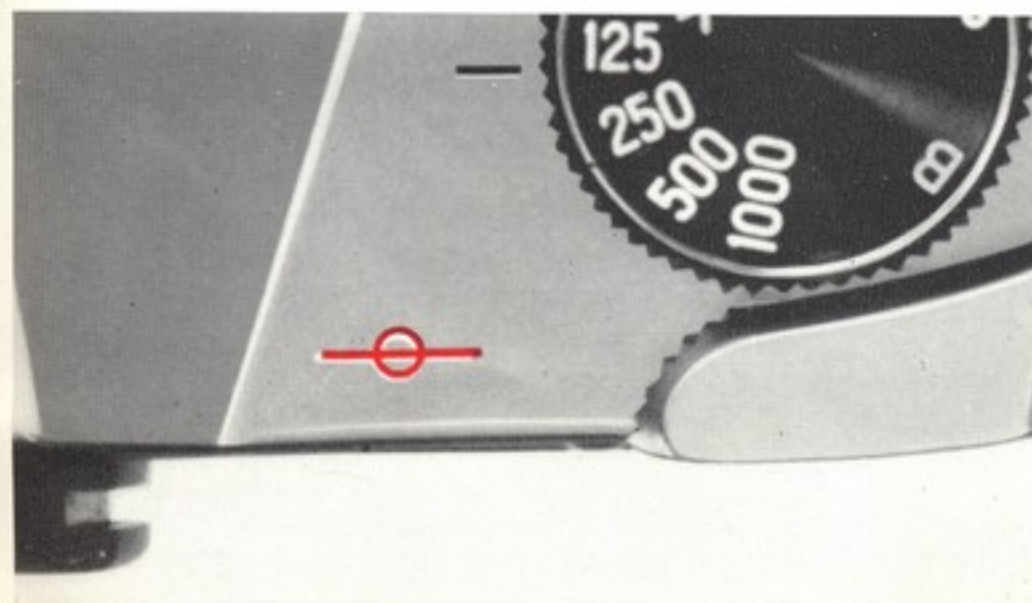
- ◎もし、セルフタイマーレバーが途中で止るときは、シャッターが完全に巻上げられていないためです。
無理にセルフタイマーレバーを押したりせず、もう一度巻上げレバーを止るまで巻上げてからセルフタイマーレバーをかけなおしてください。



〈赤外線撮影をするとき〉

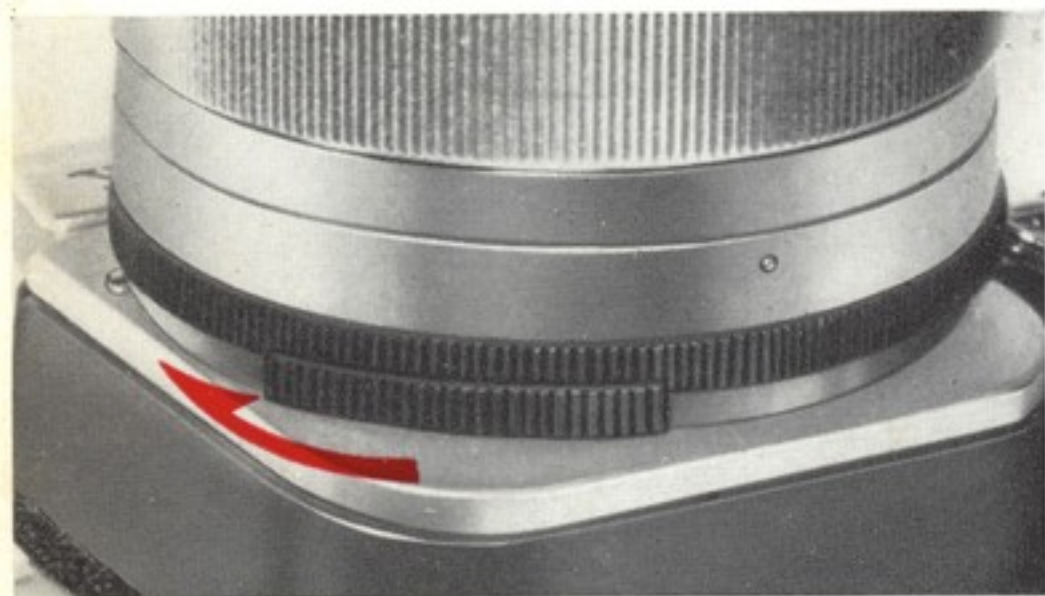
赤外線フィルムと赤外線用フィルターを使用したときに使うマークです。

◎普通の撮影の要領で距離を合わせます。その距離目盛をずらして、小さな赤丸の赤外線指標に合わせて撮影すれば正しいピントが得られます。

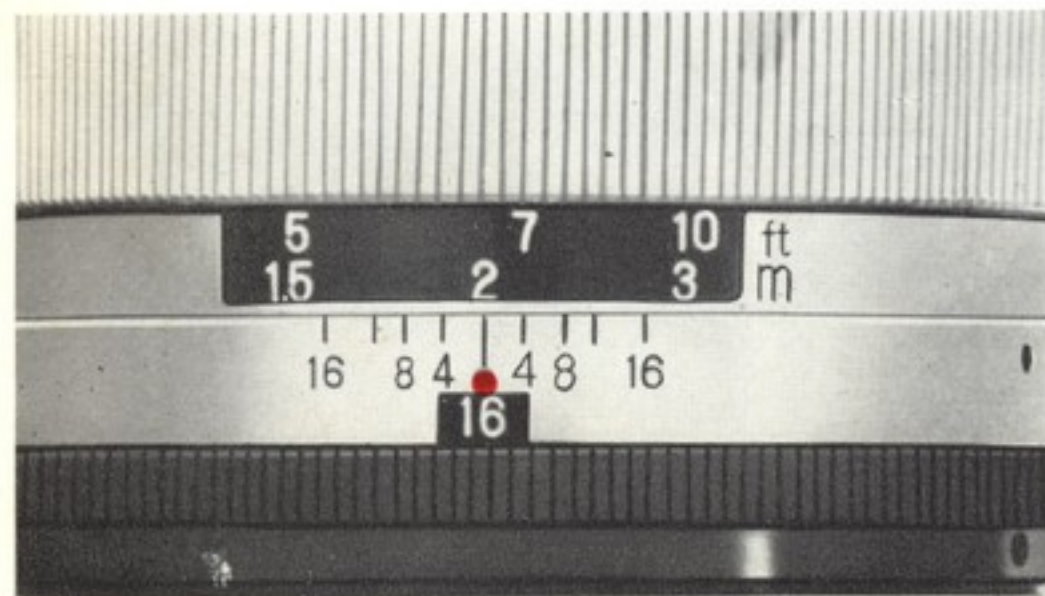


◎カメラ上部にある赤い印は、フィルム面の位置を示したものです。カメラから被写体までの距離とは、厳密にいうとレンズからでなくフィルム面からの距離をいうもので、この印は接写のときなどに使います。

☞深いピントを利用したスナップ、ボケの味を見たいとき使います。

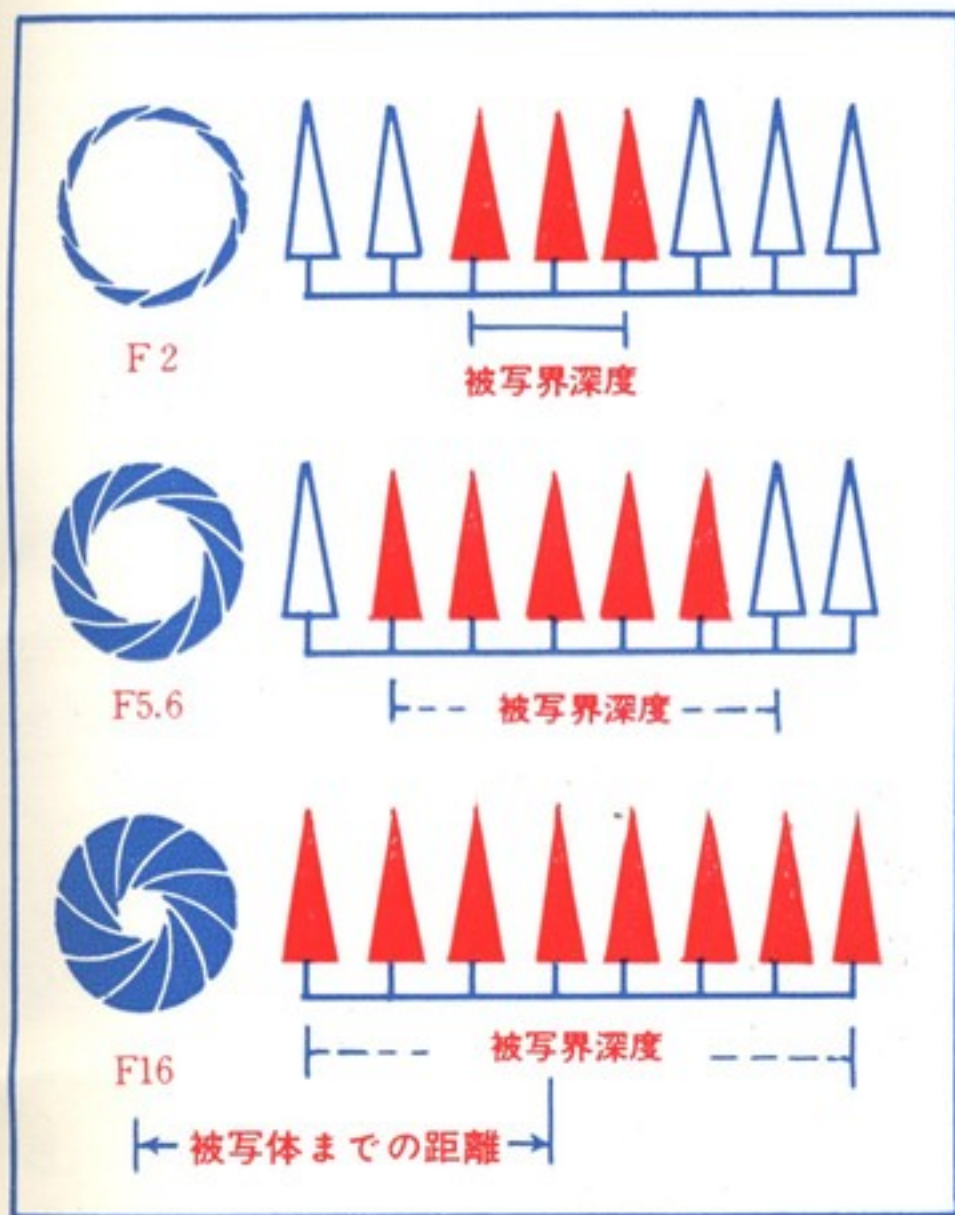


ファインダーを覗き、絞りこみレバーを止るまで押し上げるとそのときのピントの合う奥行き（被写界深度）や、背景のボケ具合がひとめで見られます。



また、被写界深度はレンズ鏡胴の被写界深度目盛によっても見られます。

この目盛の読み方は、例えば2メートルの距離に被写体があり、絞りがF 16なら赤点の両側の16の数字と対応する距離、約1.5～3.1メートルまでピントが合うことが示されるのです。



〈被写界深度とは〉

被写界深度とは、絞りの変化によってまた、写すものの距離によって変わってくるものです。

このため、近距離にいる人物と遠くの背景を一樣にはっきりと写したいとき、また背景のボケを利用したいときなどに使われます。

同じレンズでは

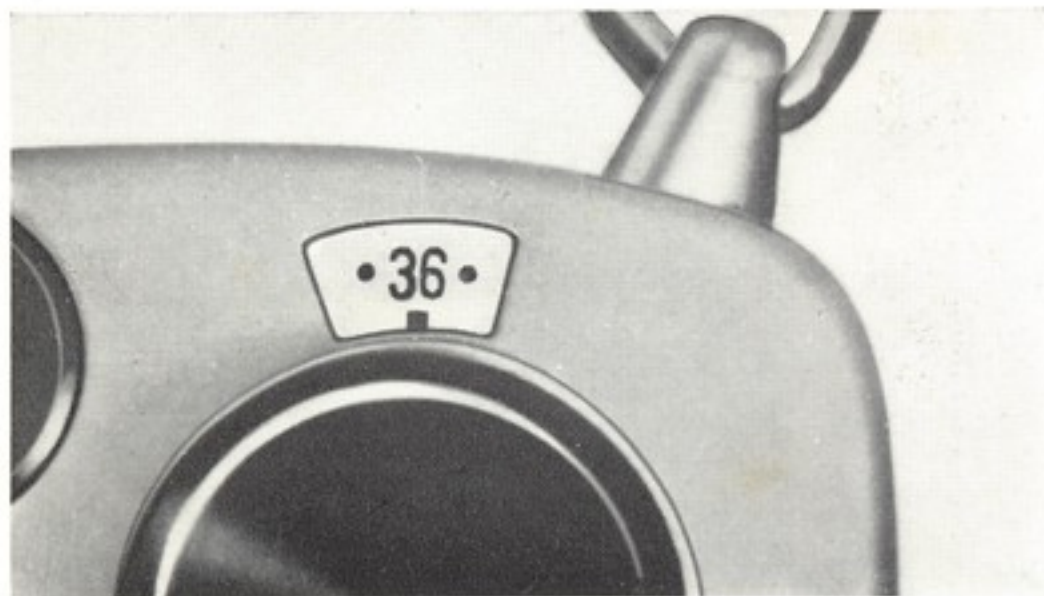
- ◎絞りを絞るほど被写界深度は深くなります。
- ◎近距離より遠距離にピントを合わせたときの方が深くなります。
- ◎焦点を合わせた被写体の前より後の方が深くなります。

*絞りこみレバーと被写界深度について

*フィルムの巻戻しかた（撮影が終わったとき）

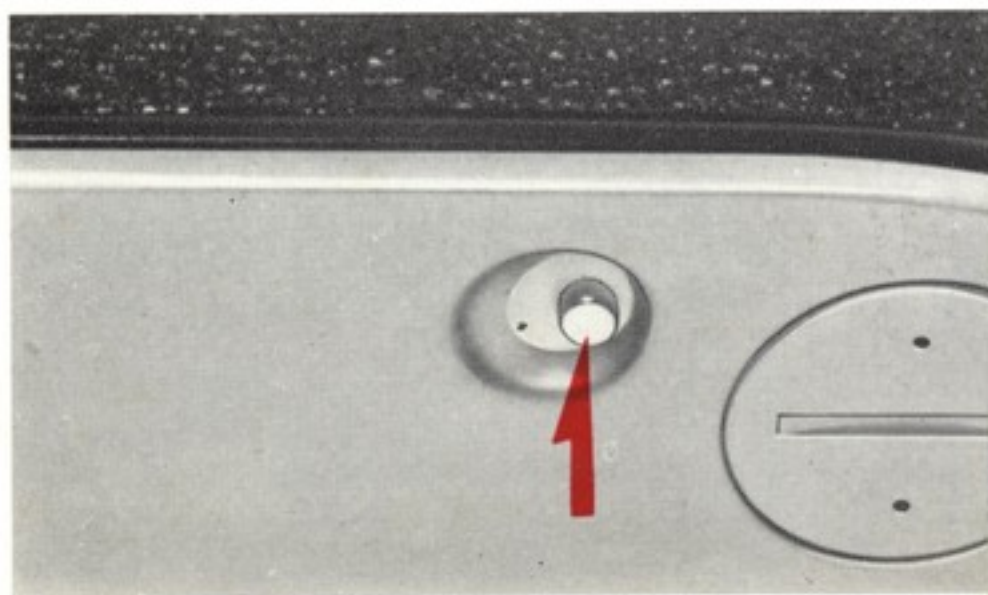
*シンクロ撮影はこうして行います

深 撮影が終ったら、パトローネに巻戻してからカメラより取出します。



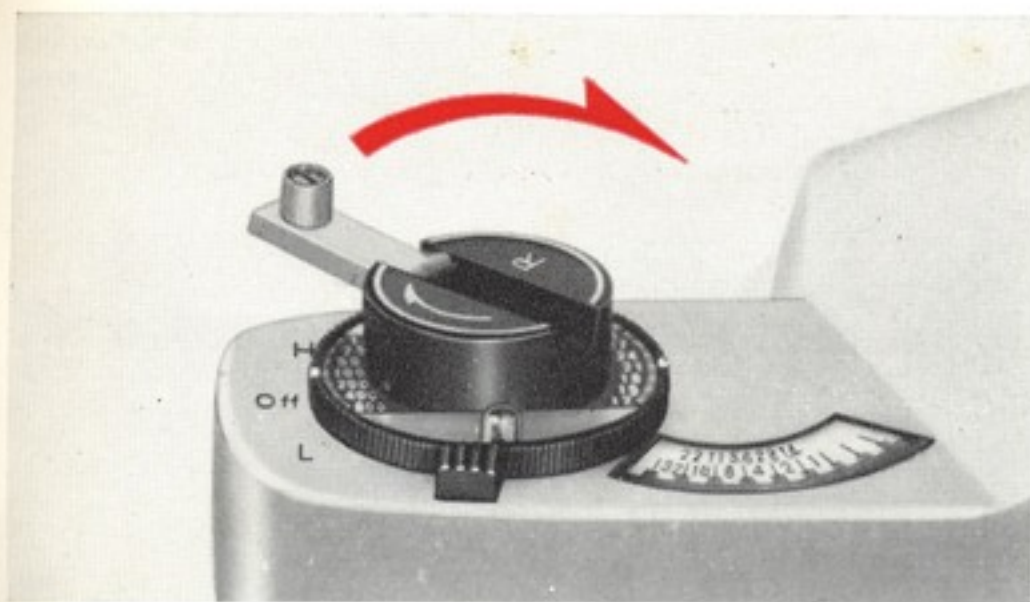
枚数計が36（または20）の数字になると、フィルムが終ったしるしです。

◎フィルムが終ったとき無理に巻上げるとフィルムが切れたりパトローネからはずれて、巻戻しができなくなります。



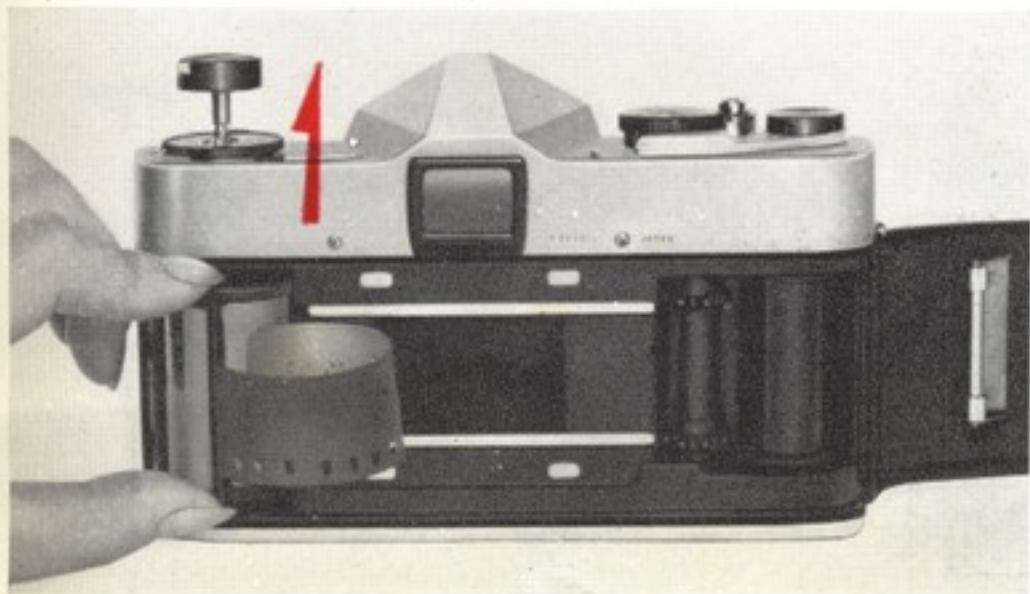
カメラ底部のフィルム巻戻し用ボタンを押しながら……………

巻戻し中は、巻戻し用ボタンを必ず押しておいてください。



巻戻しノブのクランクを起して、矢印方向に回します。

フィルムがスプールからはずれるときにちょっと抵抗を感じますが、そのまま巻きつづけてください。



抵抗感がなくなったら、裏蓋をあけ巻戻しノブを引きあげて、パトローネを取り出します。

*シンクロ撮影はこうして行います

*フィルムの巻戻しかた（撮影が終ったとき）

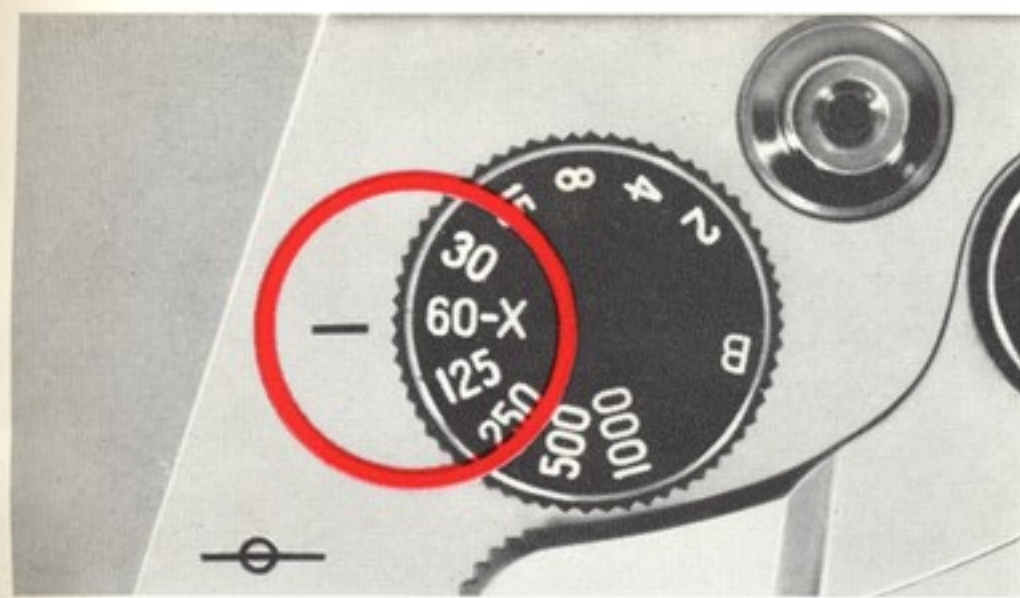
☞ 夜はシンクロ撮影で美しい写真をとりましょう。



フラッシュガン等を取りつけるときは、まず、ファインダー接眼部にアクセサリシュー(附属品として発売しています)を取りつけてからフラッシュガンをつけてください。



フラッシュガンのコードをシンクロ用接点に差し込みます。
◎閃光電球FP級 → FP接点に
◎閃光電球M級・F級 → X接点にコードをつなぎます。



ストロボには60-Xを使う

ストロボを使うときは、シャッターダイヤルの60-Xを合わせてください。

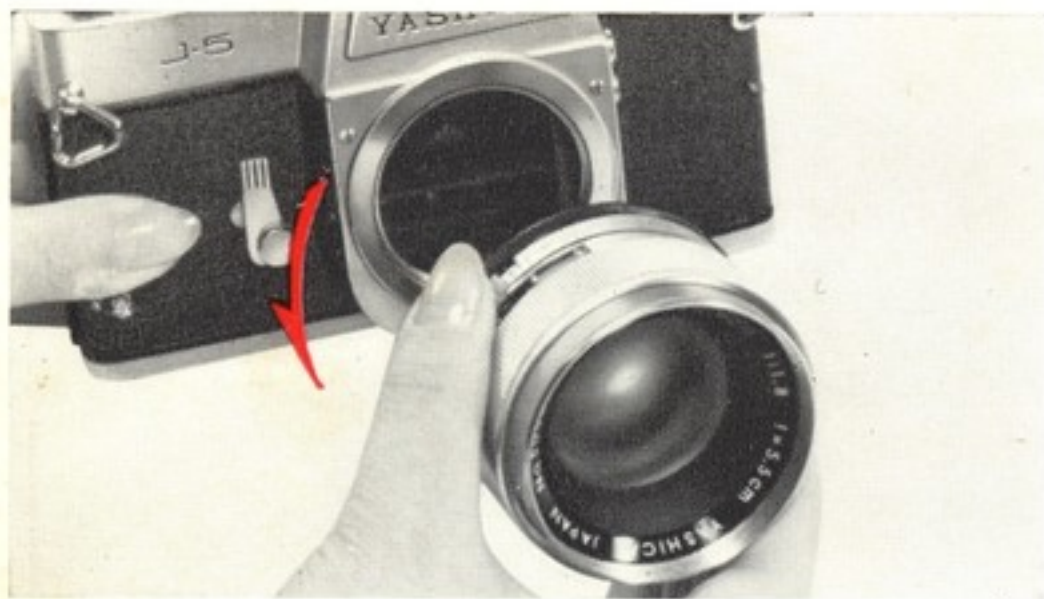
シャッター速度 接点	1000	500	250	125	60-X	30	15	8	4	2	B
FP接点	FP級を使用するとき										
X接点						F級使用					
						M級使用					
						ストロボ使用					

■フラッシュガンはなるべくBC発光器（積層電池式）を使用してください。

シンクロ接点とシャッター速度の間には表のような関係があります。表の灰色の部分で使用可能な組み合わせで、それぞれ同調します。

閃光電球は、なるべくFP級を使用するようにしてください。

望遠から広角まで自由に使えるネジ込み式ヤシカマウント



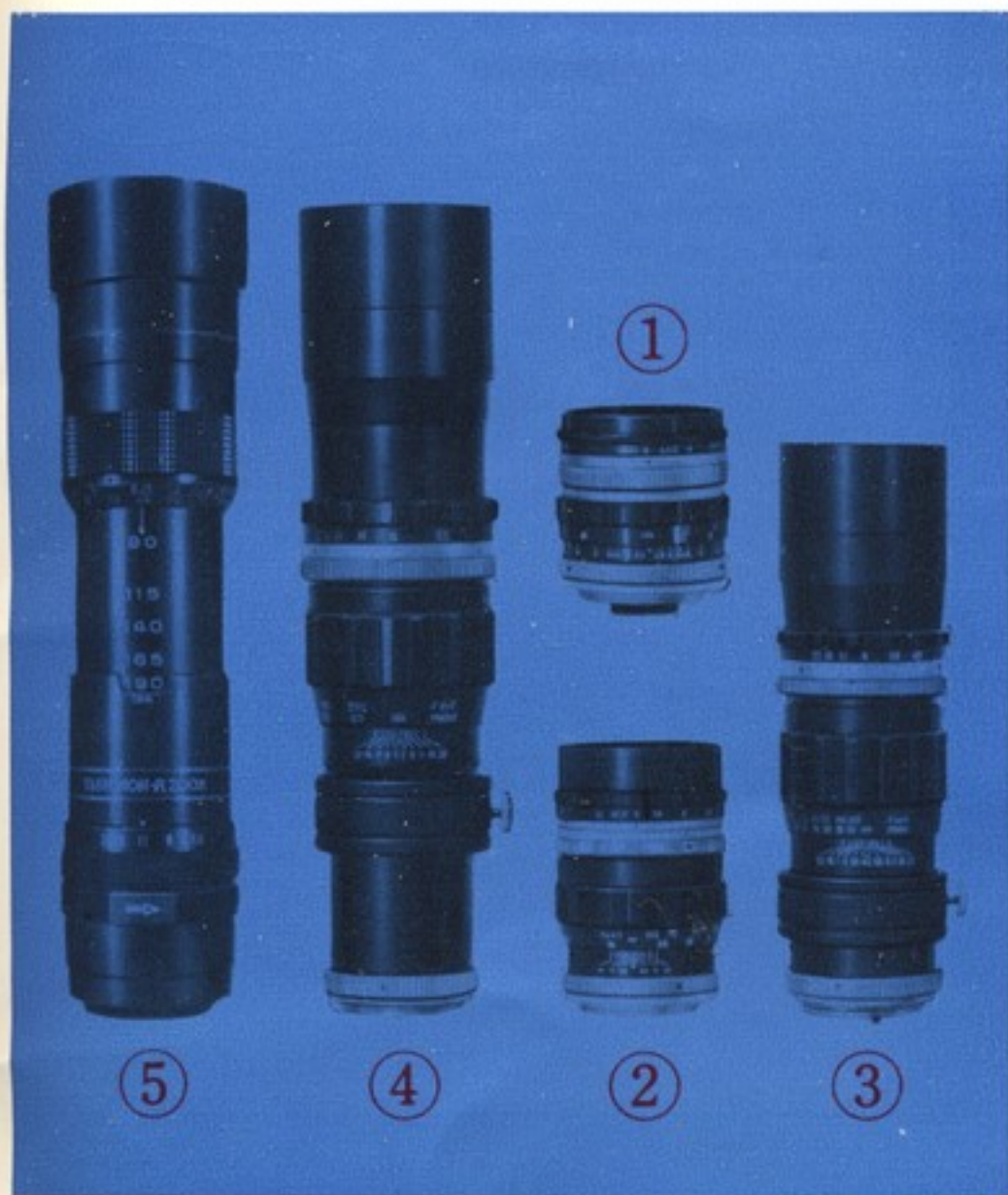
レンズの取り付け、取りはずしはレンズを回すだけでできます。

レンズマウントは、ネジ込み式（プラスチックマウントと同じです）で、レンズ鏡胴を左へ回せば簡単にはずせます。



レンズを交換しても、一眼レフですからファインダーはそのまま使えます。

フィルムを入れてあるカメラのレンズ交換は、必ず直射日光があたらないようにして行ってください。



〈専用交換レンズ〉

ヤシカ J-5 用の交換レンズとして、下記の 5 本が用意されています。

- | | | |
|------------------|---------------|---------|
| 1) ヤシノン-R | 35mm F2.8 | ¥12,500 |
| 2) ヤシノン-R | 135mm F2.8 | ¥13,900 |
| 3) ヤシノン-R | 200mm F4.5 | ¥18,500 |
| 4) ヤシノン-R | 300mm F5.5 | ¥24,500 |
| 5) ヤシノン-R ズームレンズ | 90~190mm F5.8 | ¥25,000 |

* 専用アクセサリについて
* レンズ交換と専用交換レンズ群について

👉 J-5の性能を最高度に発揮させる専用アクセサリ



◎レンズシェード

¥ 900

◎35用フィルター(ネジ込み52mm)

モノクロ用(Y₁ Y₂ O₂ R₁ G₁ B ND) 各 ¥ 750

" (UV) ¥ 850

カラー用(1A 80B 81B 82A 85C) 各 ¥ 850

◎アクセサリシュー

¥ 350

フラッシュガン等を使用するとき、ファインダー接眼部につけるシューです。

◎ライトアングルファインダー J-5用 ¥2,600

上から横から自由に覗け、胸高撮影、横向き撮影が簡単にできるファインダー

◎顕微鏡用撮影装置

¥2,500

顕微鏡撮影をするときに使用する専用アダプター

◎接写用リング

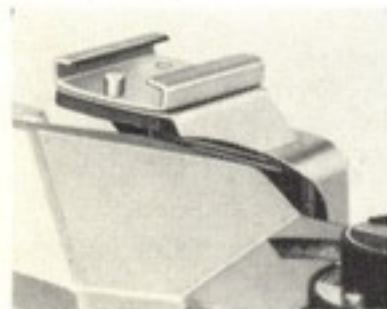
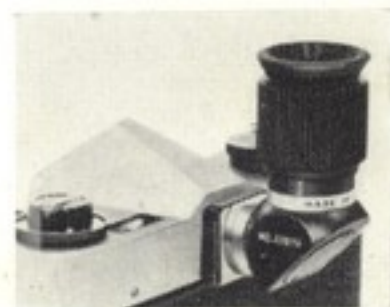
セット一式 ¥1,500

接写用リングとして、アダプターリング1号~4号まで用意されています。

◎エクステンションベローズ

¥4,500

極端な近接撮影、拡大写真などが容易にできるJ-5用ベローズが用意されています。これを使えば、実物の約2.4倍大の撮影ができます。

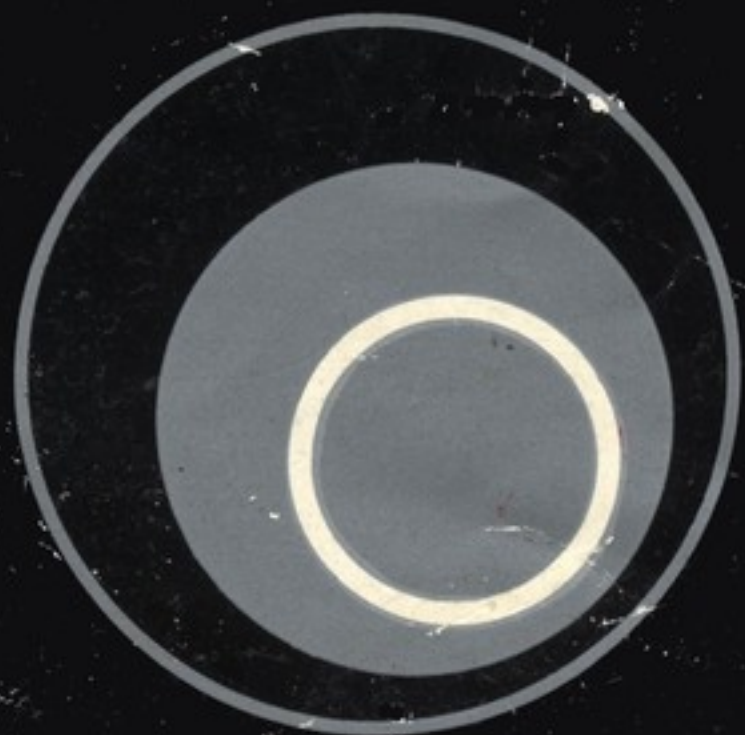


カメラは大切にしましょう

- ◎いつも美しいカメラをお持ちになれるよう金属の部分はシリコンクロスで軽くふきましょう。海岸や砂ほこりの多い撮影のあとは特に手入れをよくしましょう。
- ◎レンズは、やたらなものでふかずにレンズブラシか、柔かいガーゼーのようなもので軽くふいてください。
- ◎レンズ保護のためには、ぜひUVフィルターを使用してください。
- ◎露出計の狂う最大の原因はショックです。乱暴にあつかわれないように、また、高い湿気や高熱にさらすことのないよう注意してください。
- ◎手入れのつもりで、シャッターやカメラの内部等を分解するのはやめてください。
- ◎スローシャッター($\frac{1}{30}$ 秒以下)がきり終らないうちに、フィルムを巻きあげるのは故障の原因となります。

★修理のときは下記へお送りください。

大邦光学株式会社 東京・大田区田園調布1~20



株式会社 **ヤシカ**

東京・渋谷 神宮通2-31

TEL 東京(403) 大代表1411